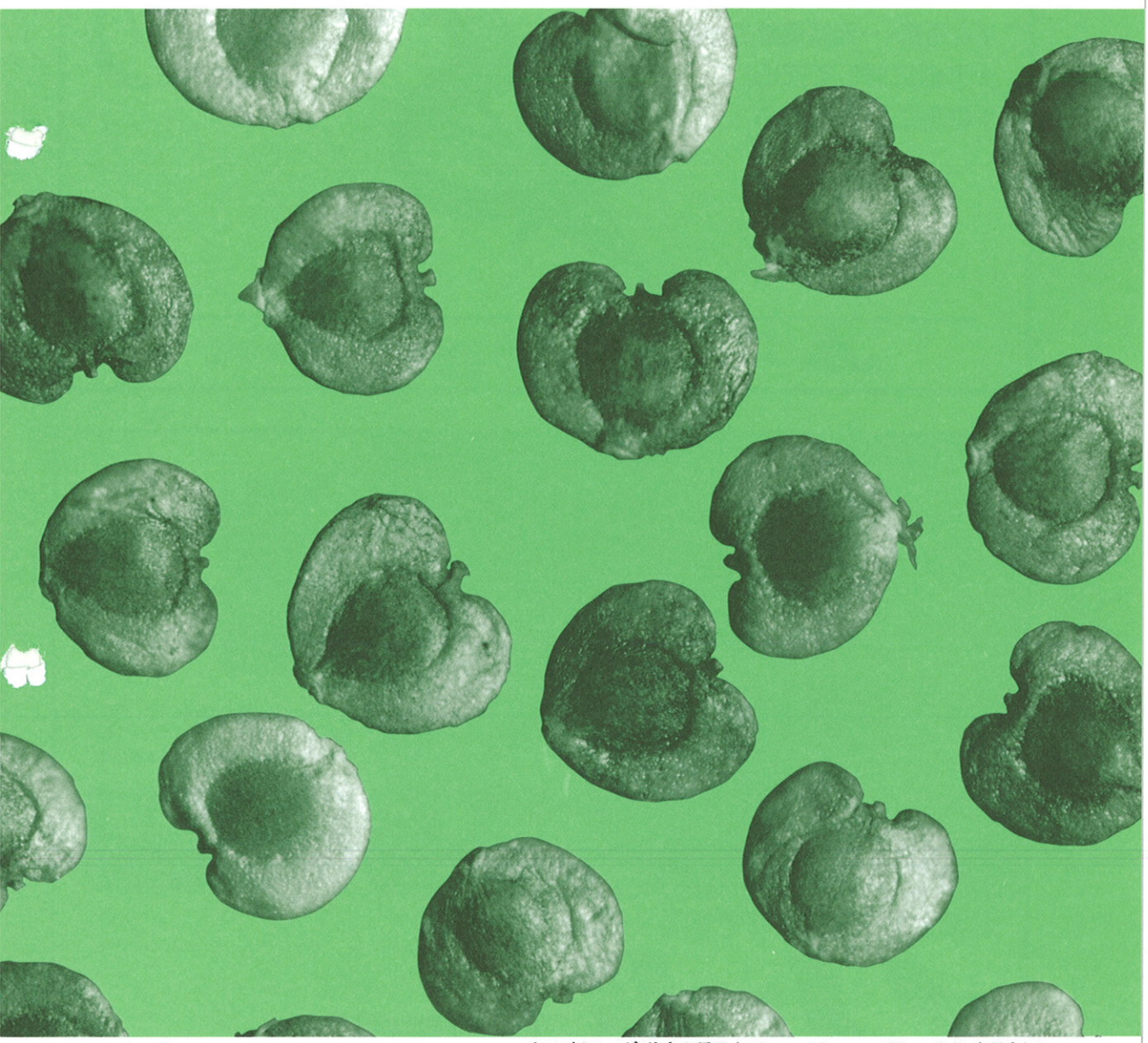
ISSN 0289-8233

植調

第36巻第12号



ホソバツルノゲイトウの種子（*Alternanthera nodiflora* R.Br.）長さ0.7mm

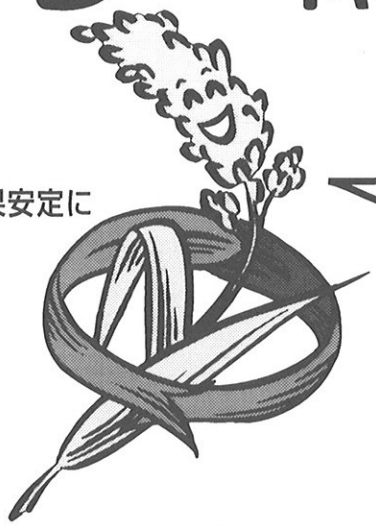
財団法人　日本植物調節剤研究協会編

新規水田用初期除草剤

新発売

初 ベクサー® フロアブル 1キロ粒剤

®科研製薬(株)商標登録



低コスト稲作に!

特 長

- ♦すぐれた経済性
- ♦中期剤・一発処理剤の効果安定に
- ♦水稲に対して安心
- ♦環境に対して安心

JAグループ 農協 全農 経済連 ®は登録商標です

三井東圧農薬株式会社
東京都中央区日本橋1-12-8

新開発の散粒機「インペーター」で上手に撒けます。
(総発売元:株式会社丸山製作所)

販売
クミアイ化学工業株式会社
北海三共株式会社
バイエルクロップサイエンス株式会社

省力 散粒機装着で除草時間ゼロを実現

効果 一度の散布で長期間の除草効果

安全 稲苗と人に対する安全性を徹底追求

田植と同時に散布できる一発処理除草剤

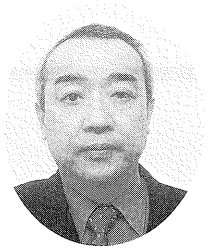
イノーバ® 1キロ粒剤

フェントラザミド・ベンスルフロンメチル粒剤

※イノーバは1kg粒剤、500mℓフロアブルの2製剤あります。いずれも田植同時処理と一発剤としてご使用頂けます。

Bayer CropScience
バイエルクロップサイエンス株式会社
東京都港区高輪4-10-8 〒108-8572
http://www.bayercropscience.co.jp

巻 頭 言



「プロジェクトXを夢見て」

財団法人 日本植物調節剤研究協会 評議員
シンジェンタジャパン株式会社 開発本部副本部長 二口欣也

氷河期から現代までの1万年の間に上昇した地球の大気温度は4℃だが、科学者の試算によると、今後西暦2050年までに地球の温度は中緯度地帯で平均4℃も上昇すると言われている。数十年で4℃も上がるという、これほど急激な温暖化が地球にどのような結果をもたらすかは予測すら困難なようである。しかし、地球の環境が大きく変わることは間違いないであろうし、各地に起こっている異常気象はすでにその予兆なのかも知れない。

千葉大学園芸学部の本山直樹教授が、「農薬とメダカ」というインタビュー記事の中でメダカが絶滅の危機にあるということを書いておられた。一般の方は誰しも農薬のせいにしたがるであろうが、これとてむしろ物理的な環境変化にメダカが対応しきれなくなったこと、生活雑排水による影響であることが伺えた。

住居、公園、オフィスビル、公共設備等、我々人間の生活行為に関わる土地利用率は地球全土のわずか1.5%にしか過ぎないが、農地としての利用率はすでに36%にも達しているということが1996年のBCPCで発表された。「全世界が有機農業に転換された場合には、収量が21%減となることが判っているのでその分を農耕地面積の拡大で補わなければならない。そうすると、昔の西ヨーロッパ圏に相当する農耕地を新たに確保しなければいけない。それは、即ち環境破壊である。これ以上の農耕地面積拡大はもう人類には許されていない」という講演内容であった。

言いたいことは2つである。我々は、農薬の人に対する安全性についてはかなりの自信をもって物事を語れるようになったが、地球環境、生態系に対する影響については、さらに謙虚に研究を続けなければいけないということ。一方で、2025年に80億と言われている人口増に応えるため、食料の安定供給に我々農薬メーカーが引き続き寄与していかなければいけないということである。そのためには、我々はやるべきことをしっかりとやり、その代わり、社会的にもっと認知され、農薬業界で働くことに誇りを持てるようにならなければいけないと思う。

日本農薬学会が、一般市民の農薬に対する理解を深めてもらうための啓発活動を続けておられることは周知のことと思うが、このたび21世紀記念事業の一環として大変立派な書籍を出版された。日本が独自に創製開発したそうそうたる農薬の歴史が集大成されたもので、本のタイトルもずばり「日本の農薬開発」である。よくも、これだけのことを集大成されたものと関係各位の方々には本当に心より敬意を表したい。何れも日本が世界に誇るべき農薬ばかりであるが、やはり、日本のお家芸ということになると水田除草剤であろう。クロロニトロフェン剤、ベンチオカーブ剤、ピラゾレート剤など日本の農業革新に大変な貢献をし、一時代を築いた剤ばかりである。農作業の中で一番過酷なものが除草であり、水稲作においては全労働時間の1/5が除草作業であったという。雑草が農作物の収量にどれほど影響を及ぼすかは、アメリカのとうもろこし畑における大規模試験を見れば自明の理である。

これほど日本の稲作農業に一大革新をもたらした農薬がなぜ「プロジェクトX」で取り上げられないのだろうか。“農薬のベネフィットはリスクをはるかに上回る”。その事実が、私の知っている声で、高らかに、そして誇らしげにテレビで語られる日を夢見ている。

目　　次

（第 36 巻　第 12 号）

巻　頭　言
「プロジェクトXを夢見て」……1
<(財)日本植物調節剤研究協会　評議員
シンジェンタジャパン(株)開発本部副本部長
二口欣也>

ＢＡ処理によるポットカーネーションの
品質保持……3
<茨城県農業総合センター園芸研究所
駒形智幸>

平成 14 年度水稲作関係除草剤試験成績
概要……8
<(財)日本植物調節剤研究協会　技術部>

平成 14 年度畑作関係除草剤試験成績
概要……75
<(財)日本植物調節剤研究協会　技術部>

植調協会だより……81

よりよい農業生産のために。三共の農薬

●時代先どり、ジャンボな省力
投げ込むだけの一発処理除草剤
クサトリエース® Hジャンボ® Lジャンボ®

●効きめの長〜い
初・中期一発処理除草剤
ラクダー® Hフロアブル・Lフロアブル

●プロにおまかせ…
ホタルイ・アゼナ!!
ラクダープロ® フロアブル

●三共の優れた製剤技術から生まれた
グリホサート液剤
三共の草枯らし®

●どっしり安定、しっかり効くゾウ
水稲用初・中期一発処理除草剤
ウィードレス® A1キロ粒剤36 1キロ粒剤51

●使いやすい
水稲用初期一発処理除草剤
三共スラッシャ® 粒剤 1キロ粒剤

●移植前後に使える
水稲用初期除草剤
シング® 乳剤

●ノビエ3.5葉期まで使える
新しい水稲用中期除草剤
ザーベックス® DX 1キロ粒剤

●SU抵抗性の
アゼナ・ホタルイに!
クサコント® フロアブル

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

三共株式会社　アグロ事業部　東京都文京区本郷4-23-14
営業所　仙台・東京・大阪

BA処理によるポットカーネーションの品質保持

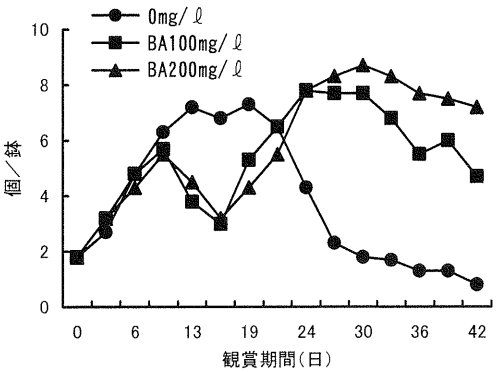
茨城県農業総合センター園芸研究所　駒形智幸

1．はじめに

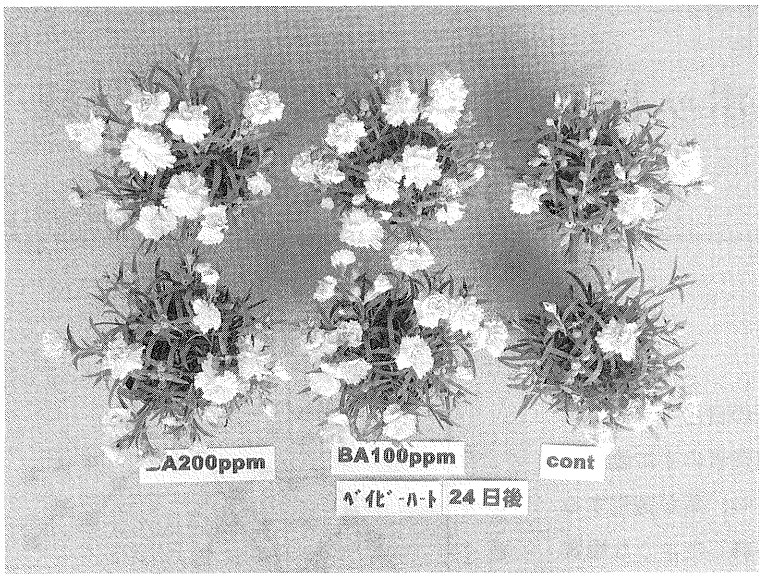
ポットカーネーションは母の日用ギフト使われる主要な鉢花であるが，消費者の手に渡ってから蕾が開花せずに枯死したり，葉が黄化するなどして品質低下が進み，期待したような観賞期間が得られないといった問題点を指摘する声もある。近年では，蕾がよく開花することを強調した品種が販売されるようになり，育種による改善が進んでいる。本稿では，サイトカイニン剤であるBAを利用した，ポットカーネーションの品質保持試験の結果を紹介する。サイトカイニンは吸水を促進し，たんぱく質の分解を防ぎ，老化を抑制する効果があるため，切花の品質保持剤として試験が行われてきた経緯がある。今回使用したビーエー液剤はベンジルアミノプリンを３％含み，水稲苗の老化防止，ブドウの花ぶるい防止，リンゴ苗木の側芽発生促進などに使用されるほか，鉢花類ではシクラメンの開花促進やシャコバサボテンの着蕾数増加などにも効果がある。

1．BA処理濃度の検討

試験１．カーネーションの品質保持に及ぼすBAの効果確認　観賞中の品質変化に及ぼすBAの影響を調べるため，BA濃度を0,100および200mg/ℓとし，各濃度の処理溶液を茎葉が十分濡れる程度に散布した。散布液が乾いた後，気温20℃一定，照度約700lx（昼白色蛍光灯で照明，12時間日長）に設定した人工気象室に搬入して観賞試験を行い，開花数，黄化葉数，枯死蕾数などを調査した。花弁が萎凋した花は，開花終了とみなして切除した。また，葉の全体の1/3以上が黄化した葉を「黄化葉」，蕾全体の1/2以上が褐変した蕾を「枯死蕾」とした。図－１に開花数の推移を示した。０mg／ℓ区では観賞開始２～３週間後にピークとなった後減少したのに対して，BA処理区では１週間を過ぎたあたりでピークとなった後いったん減少し，その後再び増加して観賞開始４週間後あたりで再びピークとなり，観賞後半の開花数が多く維持された(写真－１参照)。観賞中の黄化葉と枯死蕾の発生は，ＢＡ散布によって抑制された(図－２)。



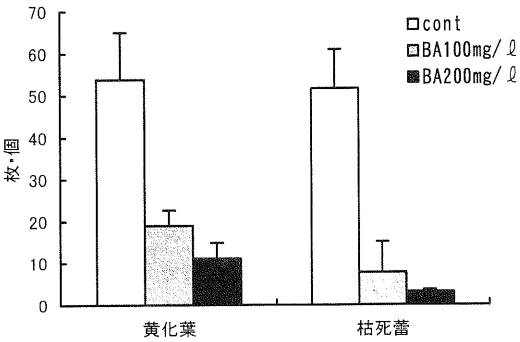
図－１　BA散布濃度が‘ベイビーハート’の開花数に及ぼす影響（駒形，未発表）
4/17にBAを鉢あたり(4号鉢)約５ml散布，観賞開始。観賞は気温20℃，照度700lx（12時間日長）の人工気象室内で行った。



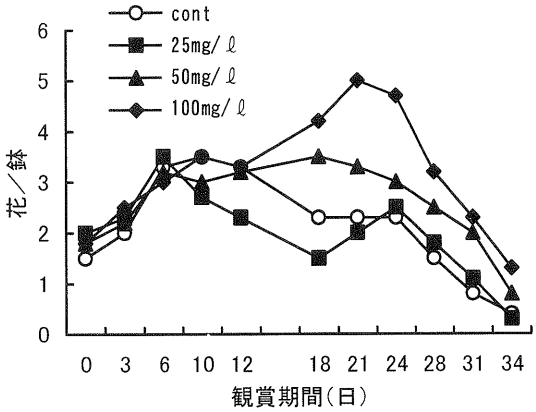
写真－１　BA散布24日後の様子
左から200，100，0mg/ℓ。品種‘ベイビーハート’

観賞中に，BAによると思われる蕾の奇形が若干発生した(写真２)。これらの結果から，BAを散布することによって観賞３週間以降の開花数が多く維持されると同時に，観賞中の葉の黄化や蕾の枯死が抑制され，観賞中の品質保持に有効であることが示された。

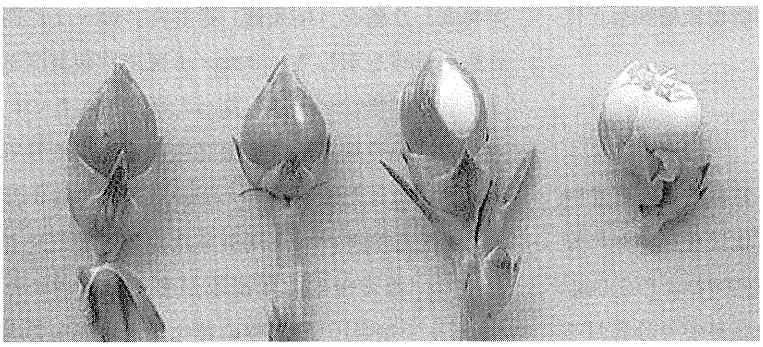
試験２．効果的な処理濃度の検討　試験１で，BAを散布することが品質保持に有効であると思われたため，



図－２　BA散布濃度が観賞中の‘ベイビーハート’の黄化葉数，枯死蕾数に及ぼす影響(駒形，未発表)
図－１と同じ.



図－３　ＢＡ濃度が開花数の推移に及ぼす影響(駒形，2002)
供試品種　‘ベイビーハート’(3.5号鉢)。BAは5/18に4ml/鉢を散布。　観賞条件は第1図と同じ。



写真－２　BA処理区で発生した蕾の奇形
左端は正常，他は奇形蕾

さらに低濃度での検討を行った。BA濃度を０，25，50，および100mg／ℓとし，試験１と同じ品種（鉢サイズは本試験では3.5号鉢）を供試し，同様の条件で観賞，調査を行った。図－３に観賞期間中の開花数の推移を示した。100mg／ℓ区で観

表－1 BA濃度が品質保持に及ぼす影響（駒形，2002）

ＢＡ濃度 (mg/ℓ)	開花数ｚ (花／鉢)	黄化葉数ｚ (枚／鉢)	枯死蕾数ｚ (個／鉢)	開花期間ｙ (日)
0	8.8ＮＳ	9.9b	5.3b	7.3a
25	9.5	8.8ab	1.0a	-x
50	8.8	7.0ab	0.9a	-x
100	8.9	5.6a	1.6a	13.4b

ｚ：観賞期間 (5/18～6/21) 中の総数。
ｙ：観賞開始後12日間に開花した花について計測した平均。
ｘ：欠測値。a～c：同符号で有意差 (0.5%) なし。
NS:有意差なし。他は図－３と同じ。

賞後半の開花数が０mg／ℓ区よりも多く推移した。BA100mg／ℓ区では，試験１のように観賞開始後にいったん開花数が大きく減少することはなかった。表－１に観賞期間中の品質保持に及ぼす影響を示した。観賞中の開花総数には差はみられなかったが，BA100mg／ℓ散布によって，１花あたりの開花期間が長くなった。蕾の枯死は，０mg／ℓ区は観賞開始18日後くらいから顕著に発生したが，BA散布区では24日後くらいまで発生はほとんどみられず，枯死蕾数は，全てのBA散布区で０mg／１区よりも少なくなった。黄化葉は観賞開始18日後くらいから発生がみられた。黄化葉数はBA散布濃度に依存して少なくなる傾向が認められ，BA100mg／１区ではBA０mg／１区に比べ有意に少なくなった。

試験１と同様に，BAを散布することによって観賞後半の開花数が多く維持されることが確認されたが，これは１花の開花期間が延長した結果であると考えられた。蕾の開花性について同じ発育段階の蕾で比較してみると，長さが1.8cm前後の大きさの蕾はBA０mg／ℓ区では50％が開花，50％が枯死したのに対して，BA100mg／ℓ区では約10％が開花し，20％が枯死，残りは緑色を保っていたが観賞期間中に開花しなかった。このことからBAを散布すると，蕾が開花するまでに要する時間が長くなる場合があるものと考えられ，試験１でみられたような観賞開始後の一時的な開花数の減少につながったのではないかと考えられる。一方，葉の黄化抑制に対してＢＡ散布が有効であり，その効果は50mg／ℓ以下では不十分で，十分な効果を得るためには100mg／ℓ程度の濃度を散布する必要があると考えられた。また，ＢＡは蕾の枯死抑制（褐変抑制）にも有効で，その効果は25mg／ℓ以上の濃度で得られるものと考えられた。キクの切花では，ＢＡ処理によって葉のクロロフィル含量の低下が抑制されることが認められており，本試験でみられた観賞中の葉の黄化や蕾の枯死抑制も，ＢＡ処理によりクロロフィル含量の低下が抑制された結果であると思われる。試験１で観察された蕾の奇形は本試験でも観察された。蕾の奇形はさほど目立たず，大きな問題とはならないと考えられるが，品質低下の一要因と捉えた方がよいと思われる。

３．ＢＡの処理時期と処理量

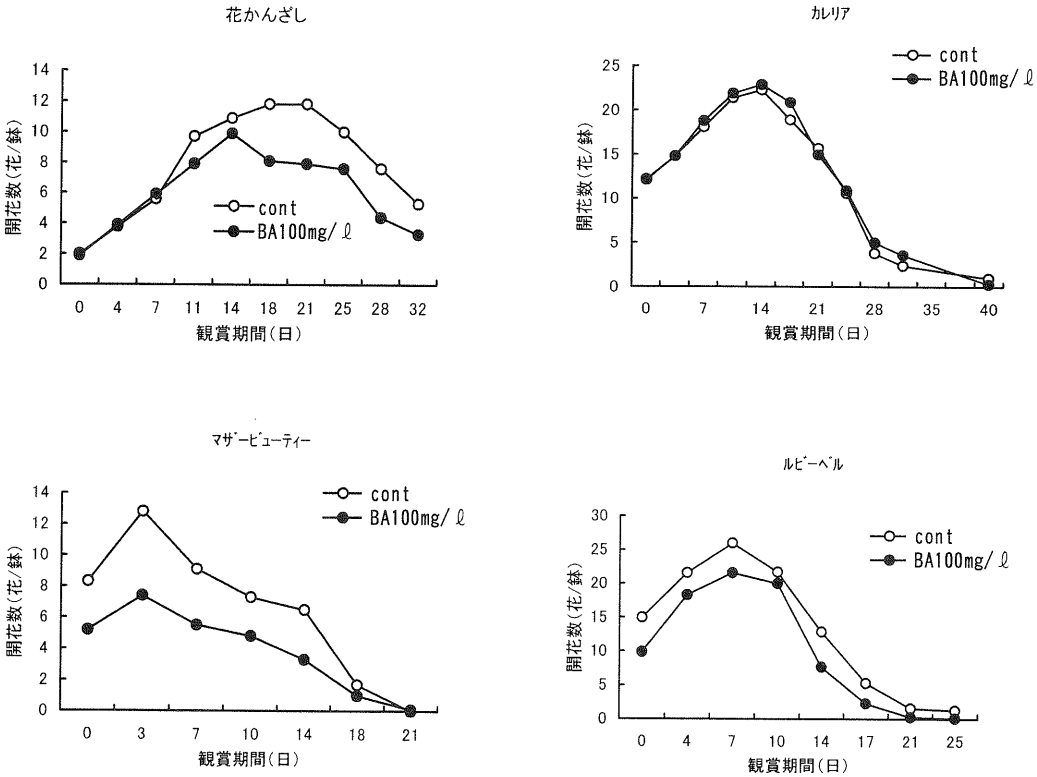
試験３．処理時期の影響　生産段階でのＢＡ処理を想定し，ＢＡの処理時期を観賞開始１，３，７日前とし，無処理と比較した。品種は‘ベイビーハート’(4.5号鉢)，ＢＡ濃度100mg／ℓを１鉢あたり約８ml散布し，試験１と同様の条件で約４週間観賞した。その結果，ＢＡを観賞開始１日もしくは３日前に散布することによって，観賞後半の開花数が無処理よりも多く推移し，黄化葉および枯死蕾の発生は処理時期にかかわらずＢＡ処理によって抑制された（データ省略）。

試験４．処理量の影響　ＢＡの適正散布量について‘ベイビーハート’(4.5号鉢）を供試して検討した。１鉢あたりの散布量を４．３，８．６および17.2mlとし，無処理と比較した。その結果，いずれの散布量でも無処理に比べて生育後半の開花数が多く推移し，黄化葉（4.3ml区

写真－３　BA処理区で発生したしおれ症状　左が正常，右がしおれ症状

は効果不十分）および枯死蕾の発生が抑制された（データ省略）。

ＢＡ処理によって生育後半の開花数維持を期待するには観賞開始３日前以内の処理が必要であるが，７日前の処理でも黄化葉や枯死蕾の発生抑制には効果がある。また，４．５号鉢あたり４～５mlを散布すれば，品質保持効果が得られることがわかった。しかし，この２つの試験では，観賞中に蕾の奇形や株のしおれが発生した（写真－３）。これらは無処理区でもほんのわずかに発生したが，ＢＡ処理区では発生が目立った。特に，「しおれ」は観賞性を著しく損なうので重大な問題である。これまでの試験ではしおれの発生はみられていない。



図－４　BA散布がポットカーネーションの観賞中の開花数に及ぼす影響（駒形，未発表）
ＢＡ100mg/ℓを観賞開始前日に株全体に散布。散布量は‘花かんざし’(4号鉢)が4ml，他の品種(5号鉢)は8ml。‘花かんざし’と‘カレリア’は4/19に所内の廊下で観賞開始，‘ルビーベル’は5/24，‘マザービューティー’は5/31に人工気象室(環境条件は図－１と同じ)で観賞開始した。

4．ＢＡ処理に対する品種の反応

試験５　試験１～試験４は‘ベイビーハート’を供試して行われたが，これ以外の品種に対する効果を確認するため，‘カレリア’，‘花かんざし’，‘マザービューティー’，‘ルビーベル’を供試して試験を行った。鉢サイズは‘花かんざし’が４号鉢，他の品種は５号鉢を供試した。ＢＡ100mg／ℓを観賞開始前日に株全体に散布した（鉢あたりの処理量は‘花かんざし’4ml，他の品種は８ml）。観賞場所は‘カレリア’と‘花かんざし’が所内の廊下，‘マザービューティー’と‘ルビーベル’が人工気象室である。観賞中の開花数の推移を図－４に示した。‘カレリア’，‘ルビーベル’ではＢＡ処理と無処理の差はみられず，‘花かんざし’ではむしろＢＡ処理で少なくなる傾向がみられた。‘マザービューティー’は，スタート時の差がそのまま持続した形で推移し，いずれの品種においても‘ベイビーハート’でみられたような，生育後半の開花数が多く推移する現象は認められなかった。表－２に示したとおり，観賞期間中の黄化葉と枯死蕾の発生はＢＡ処理によって抑制された。また，本試験では，主にＢＡ処理区で観賞中に株のしおれおよび奇形蕾が発生した。

本試験で供試した４品種は，ＢＡ処理によって黄化葉や枯死蕾の発生が抑制されたが，観賞後半の開花数を多く維持する効果は認められなかった。ＢＡ処理によって花弁がよく開かない，破蕾後開花する前に花弁の先が枯れるといった症状がみられるなど，開花についてはむしろマイナスに作用する場合もあった。

表－２　BA散布がポットカーネーションの観賞中の黄化葉数，枯死蕾数に及ぼす影響（駒形，未発表）

品種名	鑑賞期間(日)	黄化葉数(枚)		枯死蕾数(個)	
		無処理	ＢＡ処理	無処理	ＢＡ処理
花かんざし	32	8.7	2.6	6.9	0
カレリア	32	14	8.8	6.8	0
マザービューティー	21	103.2	61	8.9	0.5
ルビーベル	25	27.9	5.8	6.3	0.4

条件は図－４と同じ。

5．まとめ

観賞前にＢＡを処理すると，観賞中の葉の黄化や蕾の褐変を抑制する効果がある。また，品種によっては観賞後半の開花数が多く維持されるなどの効果が期待できる。処理方法は100mg／ℓ溶液を観賞開始３日以内（葉の黄化や蕾の褐変抑制なら７日前でも可）に4.5号鉢あたり４～５mlを株全体に散布する。しかし，ＢＡ処理によって観賞中にしおれや蕾の奇形が発生したり，花弁の展開が悪くなるなどの障害が発生する場合がある。従って，現時点では実用技術としては問題が多く，今後は発生した問題をクリアする方法を明らかにする必要がある。

平成14年度水稲作関係除草剤試験成績概要

財団法人　日本植物調節剤研究協会　技術部

平成14年度水稲作関係除草剤試験成績中央検討会は、平成14年12月12日、13日の2日間、池之端文化センターにおいて開催された。なお、適-1 試験成績検討会は、これに先立ち平成14年10月16日　台東1丁目区民館にて開催された。ここに、これらの成果の概要を報告する。

1)第一次適用性試験(適－1)は、北海道地域(植調研北海道試験地)、東北地域(植調古川試験地)、北陸地域(植調新潟試験地)、関東地域(植調研究所)、近畿・中国・四国地域(植調滋賀試験地)、九州地域(植調福岡試験地)の全国6地域および砂壌土(植調広島第一試験地)で55薬剤(のべ262点)について実施した。その判定結果は、第2表のとおりである。

2)第二次適用性試験(適－2)の総点数はのべ2,001点であり、その内訳を第1表にまとめた。これら適－2試験の判定結果は、第3表のとおりである。

第1表　平成14年度適-2試験実施点数

Ⅱ-2(移植前後土壌処理)	12剤187点	Ⅶ-3(長期持続型一発処理剤)	1剤　4点
Ⅱ-3(移植後土壌処理)	4剤 41点	Ⅸ(一年生持続型除草剤)	3剤 26点
Ⅱ-5(適用時期拡大)	6剤 43点	Ⅹ(少量拡散型粒剤)	12剤115点
Ⅱ-6(特殊雑草防除)	のべ99剤179点	ⅩⅠ(生物除草剤)	1剤　8点
Ⅲ (直播栽培用)	11剤 49点		
Ⅳ (畦畔雑草用)	3剤 13点	ジャンボ剤	
Ⅴ (耕起前雑草用)	2剤 10点	Ⅱ-2(移植前後土壌処理)	4剤 38点
Ⅵ(休耕田用)	3剤 15点	Ⅱ-5(適用時期拡大)	2剤 29点
Ⅶ-1(初期一発処理剤)	18剤151点	Ⅶ(一発処理剤)	34剤432点
Ⅶ-2(初・中期一発処理剤)	70剤594点	Ⅸ(一年生持続型除草剤)	3剤 67点

第２表　平成１４年度　水稲作関係除草剤適－１試験　成績判定結果一覧

注）判定欄の記入については、◎：極めて有望、○：有望、□：可能性有り、△：再検討、×：見込みなし　を表す。

NO	薬剤名・剤型［委託者］	有効成分及び含有率（%）	実施場所別総合評価 北海道	古川	新潟	植調研	滋賀	福岡	広島砂壌土	中央判定［今後の検討課題］
1	AVH-003 ｼﾞｬﾝﾎﾞ［ﾊﾞｲｴﾙ］	ｱﾆﾛﾎｽ :8 ｴﾄｷｼｽﾙﾌﾛﾝ:0.34 ｸﾛﾒﾌﾟﾛｯﾌﾟ:7 ﾀﾞｲﾑﾛﾝ :12	○	□	□	□	○	□	□	□ 一発処理剤として ＋５～ﾉﾋﾞｴ2.0L、ﾎﾀﾙｲ1.5L ［ミズガヤツリに対する処理時期と効果について］
2	AVH-302 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ［ﾊﾞｲｴﾙ］	ｵｷｻｼﾞｸﾛﾒﾎﾝ:1.2 AVH-301 :6 (W/V)	□	□	□	○	◎	□	○	○ 一発処理剤として +5～ﾉﾋﾞｴ2.0L、ﾎﾀﾙｲ2.0L（北海道～北陸） +5～ﾉﾋﾞｴ2.5L、ﾎﾀﾙｲ2.5L(関東以西) ［ﾉﾋﾞｴ葉齢限界（東北・北陸）、薬害要因について］
3	BAG-021 ｼﾞｬﾝﾎﾞ［BASFｱｸﾞﾛ］	ｼｸﾛｽﾙﾌｧﾑﾛﾝ:1.8 ｵｷｻｼﾞｸﾛﾒﾎﾝ:2 ｸﾛﾒﾌﾟﾛｯﾌﾟ :14		□	○	○				□ 一発処理剤として（東北～関東） +1～ﾉﾋﾞｴ2.0L、ﾎﾀﾙｲ1.5L ［ノビエ葉齢限界について（東北・北陸）］
4	BAG-022-0.3kg 粒［*BASFｱｸﾞﾛ,科研］	ｼｸﾛｽﾙﾌｧﾑﾛﾝ :1.5 ﾍﾟﾝｼﾞﾋﾞｼｸﾛﾝ:6.67 ﾍﾟﾝﾄｷｻｿﾞﾝ :10	○	□	○	○	○	○	○	○ 一発処理剤として +0～ﾉﾋﾞｴ1.5L、ﾎﾀﾙｲ1.0L ［ﾉﾋﾞｴ葉齢限界について（東北）］
5	HOK-201D ﾌﾛｱﾌﾞﾙ［北興］	HOK-201 :5 未公開(既知):1.4	○	□						○ 一発処理剤として（北海道、東北） +0～ﾉﾋﾞｴ2.5L、ﾎﾀﾙｲ2.5L ［ノビエ葉齢限界について］
6	HOK-201DS ﾌﾛｱﾌﾞﾙ［北興］	HOK-201 :5 未公開(既知A):1 未公開(既知B):9			○	○	◎	○	○	○ 一発処理剤として（北陸以西） +0～ﾉﾋﾞｴ2.5L、ﾎﾀﾙｲ2.5L
7	HOK-221 ｼﾞｬﾝﾎﾞ［*北興,ﾊﾞｲｴﾙ,ﾃﾞｭﾎﾟﾝ］	ﾍﾟﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:1.02 ｵｷｻｼﾞｸﾛﾒﾎﾝ :1.2 ｸﾛﾒﾌﾟﾛｯﾌﾟ :7 ﾀﾞｲﾑﾛﾝ :9			○	○	○	○	○	○ 一発処理剤として（北陸以西） +3～ﾉﾋﾞｴ2.0L、ﾎﾀﾙｲ2.0L
8	HOK-222 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ［*北興,ﾃﾞｭﾎﾟﾝ］	ｵｷｻｼﾞｸﾛﾒﾎﾝ :1.2 ｸﾛﾒﾌﾟﾛｯﾌﾟ :6 ﾌﾞﾛﾓﾌﾞﾁﾄﾞ :12 ﾍﾟﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:1.4	○	□						○ 一発処理剤として（北海道、東北） +0～ﾉﾋﾞｴ2.5L、ﾎﾀﾙｲ2.5L ［ノビエ葉齢限界について］
9	HOK-223 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ［*北興,ﾃﾞｭﾎﾟﾝ］	ｵｷｻｼﾞｸﾛﾒﾎﾝ :1.2 ｸﾛﾒﾌﾟﾛｯﾌﾟ :6 ﾌﾞﾛﾓﾌﾞﾁﾄﾞ :12 ﾍﾟﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:1			○	◎	○	○	○	○ 一発処理剤として（北陸以西） +0～ﾉﾋﾞｴ2.5L、ﾎﾀﾙｲ2.5L
10	HOK-224-1kg 粒［北興］	ｵｷｻｼﾞｸﾛﾒﾎﾝ :0.6 ｸﾛﾒﾌﾟﾛｯﾌﾟ :3.5 ｼﾊﾛﾎｯﾌﾟﾌﾞﾁﾙ:1.5 ﾍﾟﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:0.75	○	□						○ 一発処理剤として（北海道、東北） +0～ﾉﾋﾞｴ3.0L、ﾎﾀﾙｲ3.0L
11	HOK-225-1kg 粒［北興］	ｵｷｻｼﾞｸﾛﾒﾎﾝ :0.6 ｸﾛﾒﾌﾟﾛｯﾌﾟ :3.5 ｼﾊﾛﾎｯﾌﾟﾌﾞﾁﾙ:1.5 ﾍﾟﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:0.51			○	○	○	○	○	○ 一発処理剤として（北陸以西） +0～ﾉﾋﾞｴ3.0L、ﾎﾀﾙｲ3.0L
12	KH-183①-1kg 粒［ｱｸﾞﾛｶﾈｼｮｳ］	ACN :9 ﾌﾞﾀｸﾛｰﾙ:7.5	○	□	○	○	□	○	○	○ 一年生雑草・ホタルイ対象の移植前後土壌処理剤として 移植前(-4以前)、+3～ﾉﾋﾞｴ1.5L、ﾎﾀﾙｲ1.0L
13	KPP-2008-1kg 粒［科研］	ﾌﾞﾀｸﾛｰﾙ :5 ﾍﾟﾝﾄｷｻｿﾞﾝ:1.5	○	□	□	○	○	□	○	○ 一年生雑草・ホタルイ対象の移植前後土壌処理剤として 移植前(-4以前)、+3～ﾉﾋﾞｴ1.0L、ﾎﾀﾙｲ1.0L ［ノビエ1.5葉期の効果について］）

NO	薬剤名・剤型 [委託者]	有効成分及び含有率 (%)	実施場所別総合評価 北海道	古川	新潟	植調研	滋賀	福岡	広島砂壌土	中央判定 [今後の検討課題]
14	KPP-2011　フロアブル [*科研,トクヤマ]	ﾃﾆﾙｸﾛｰﾙ　:2.9 ﾍﾟﾝﾄｷｻｿﾞﾝ:2.9	□	□	□	□	○	□	□	□　一年生雑草・ホタルイ対象の移植前後土壌処理剤として 移植前(-4以前)、+3～ﾉﾋﾞｴ1.0L、ﾎﾀﾙｲ前～始 [ホタルイに対する効果、砂壌土での薬害について]
15	KPP-2011-1kg　粒 [*科研,トクヤマ]	ﾃﾆﾙｸﾛｰﾙ　:1.5 ﾍﾟﾝﾄｷｻｿﾞﾝ:1.5	□	□	□	□	○	□	□	□　一年生雑草・ホタルイ対象の移植前後土壌処理剤として 移植前(-4以前)、+3～ﾉﾋﾞｴ1.0L、ﾎﾀﾙｲ発生前 [ホタルイに対する効果、砂壌土での薬害について]
16	KUH-021-1kg　粒 [クミ化]	KUH-021(新規):0.67	○	○	○	○	○	□	○	○　一発処理剤として +3～ﾉﾋﾞｴ3.0L、ﾎﾀﾙｲ3.0L [ﾉﾋﾞｴ殺草葉齢(九州)、薬害要因について]
17	KUH-022K-1kg　粒 [クミ化]	ｼﾒﾄﾘﾝ　:3 ﾌﾞﾀｸﾛｰﾙ　:7.5 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:0.75 ﾍﾞﾝﾁｵｶｰﾌﾞ　:15	□	○						○　一発処理剤として（北海道、東北） +5～ﾉﾋﾞｴ2.5L、ﾎﾀﾙｲ2.5L
18	KUH-023K　フロアブル [*クミ化,SDS]	ｶﾌｪﾝｽﾄﾛｰﾙ　:6 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:1.5 ﾍﾞﾝｿﾞﾋﾞｼｸﾛﾝ:4(W/V)	○	○						○　一発処理剤として（北海道、東北） +5～ﾉﾋﾞｴ2.5L、ﾎﾀﾙｲ2.5L
19	KUH-023D　フロアブル [*クミ化,SDS]	ｶﾌｪﾝｽﾄﾛｰﾙ　:4.2 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:1 ﾍﾞﾝｿﾞﾋﾞｼｸﾛﾝ:4(W/V)			○	○	○	○	□	○　一発処理剤として（北陸以西） +3～ﾉﾋﾞｴ2.5L、ﾎﾀﾙｲ2.5L [砂壌土での薬害について]
20	KUH-023K-0.25kg　粒 [*クミ化,SDS]	ｶﾌｪﾝｽﾄﾛｰﾙ　:12 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:3 ﾍﾞﾝｿﾞﾋﾞｼｸﾛﾝ:8	○	□						○　一発処理剤として（北海道、東北） +5～ﾉﾋﾞｴ2.5L、ﾎﾀﾙｲ2.5L [ﾉﾋﾞｴ殺草葉令について]
21	KUH-023D-0.25kg　粒 [*クミ化,SDS]	ｶﾌｪﾝｽﾄﾛｰﾙ　:8.4 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:2 ﾍﾞﾝｿﾞﾋﾞｼｸﾛﾝ:8			○	○	○	○	□	○　一発処理剤として（北陸以西） +3～ﾉﾋﾞｴ2.5L、ﾎﾀﾙｲ2.5L [ﾉﾋﾞｴ葉齢限界、砂壌土での薬害について]
22	MY-100D-1kg　粒 [*北興,ﾃﾞｭﾎﾟﾝ]	ｵｷｻｼﾞｸﾛﾒﾎﾝ　:0.8 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:0.75		□						□　一発処理剤として（東北） +5～ﾉﾋﾞｴ2.0L、ﾎﾀﾙｲ2.0L [ﾉﾋﾞｴ殺草葉齢について]
23	MY-100TSC　フロアブル [*武田,ﾊﾞｲｴﾙ]	ｲﾏｿﾞｽﾙﾌﾛﾝ　:1.7 ｵｷｻｼﾞｸﾛﾒﾎﾝ:1.2 ｸﾛﾒﾌﾟﾛｯﾌﾟ　:6.6 ﾀﾞｲﾑﾛﾝ　:9.5					○	○	○	○　一発処理剤として +0～ﾉﾋﾞｴ2.5L、ﾎﾀﾙｲ2.5L (H12北海道～関東　○、ﾉﾋﾞｴ2.5Lまで)
24	NBA-141a-1kg　粒 [ﾊﾞｲｴﾙ]	ﾌｪﾝﾄﾗｻﾞﾐﾄﾞ　:3 ﾌﾟﾛﾓﾌﾟﾁﾄﾞ　:6 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:0.75	□	□						□　一発処理剤として（北海道・東北） +3～ﾉﾋﾞｴ2.5L、ﾎﾀﾙｲ2.5L [ﾉﾋﾞｴ葉齢限界、薬害について]
25	NBA-141b-1kg　粒 [ﾊﾞｲｴﾙ]	ﾌｪﾝﾄﾗｻﾞﾐﾄﾞ　:3 ﾌﾟﾛﾓﾌﾟﾁﾄﾞ　:6 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:0.51			○	○	○	○	○	○　一発処理剤として（北陸以西） +3～ﾉﾋﾞｴ2.5L、ﾎﾀﾙｲ2.5L
26	NBA-142-1kg　粒 [ﾊﾞｲｴﾙ]	ｲﾏｿﾞｽﾙﾌﾛﾝ　:0.9 ﾀﾞｲﾑﾛﾝ　:10 ﾌｪﾝﾄﾗｻﾞﾐﾄﾞ:2		○	○	○	○	○	○	○　一発処理剤として（東北以西） +0～ﾉﾋﾞｴ2.0L、ﾎﾀﾙｲ2.0L
27	NBA-941S-1kg　粒 [日産]	ｼﾊﾛﾎｯﾌﾟﾌﾞﾁﾙ　:1.5 ﾋﾟﾗｿﾞｽﾙﾌﾛﾝｴﾁﾙ:0.3 ﾌﾟﾛﾓﾌﾟﾁﾄﾞ　:6 ﾒﾌｪﾅｾｯﾄ　:7.5				○				○　一発処理剤として（北海道～関東） +5～ﾉﾋﾞｴ3.0L、ﾎﾀﾙｲ2.5L (H10北海道～北陸　○、ﾉﾋﾞｴ3.0Lまで)

NO	薬剤名・剤型 [委託者]	有効成分及び含有率 (%)	実施場所別総合評価 北海道	古川	新潟	植調研	滋賀	福岡	広島砂壌土	中央判定 [今後の検討課題]
28	NC-385SB-1kg 粒 [*日産,SDS]	ﾋﾟﾗｿﾞｽﾙﾌﾛﾝｴﾁﾙ:0.3 ﾌｪﾝﾄﾗｻﾞﾐﾄﾞ :3 ﾍﾞﾝｿﾞﾋﾞｼｸﾛﾝ :2	○	○	○	◎	○	□	□	○ 一発処理剤として +5～ﾉﾋﾞｴ2.5L、ﾎﾀﾙｲ2.5L [九州および砂壌土での薬害について]
29	NC-604 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ [*日産,SDS]	ｶﾌｪﾝｽﾄﾛｰﾙ :5 ﾀﾞｲﾑﾛﾝ :10 ﾊﾛｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ :1.2 ﾍﾞﾝｿﾞﾋﾞｼｸﾛﾝ:4	□	□	○	◎	○	□	○	□ 一発処理剤として +5～ﾉﾋﾞｴ2.0L、ﾎﾀﾙｲ2.5L [ﾉﾋﾞｴ殺草葉令について]
30	NCM-451 ｼﾞｬﾝﾎﾞ [日産]	ﾋﾟﾗｿﾞｽﾙﾌﾛﾝｴﾁﾙ:0.7 ﾌﾞﾀｸﾛｰﾙ :34			○		○		○	○ 一発処理剤として +1～ﾉﾋﾞｴ1.5L、ﾎﾀﾙｲ1.0L (H13北海道、東北、関東、九州 ○、ﾉﾋﾞｴ1.5Lまで)
31	SB-526 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ [SDS]	ｶﾌｪﾝｽﾄﾛｰﾙ :4.2 ﾍﾞﾝｿﾞﾋﾞｼｸﾛﾝ:4	□	□	○	◎	○	○	□	○ 一年生雑草・ﾎﾀﾙｲ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘに有効な一年生持続型除草剤として +3～ﾉﾋﾞｴ2.0L、ﾎﾀﾙｲ2.0L [ﾉﾋﾞｴ葉齢限界(東北)、砂壌土での薬害について]
32	SB-526-1kg 粒 [SDS]	ｶﾌｪﾝｽﾄﾛｰﾙ :2.1 ﾍﾞﾝｿﾞﾋﾞｼｸﾛﾝ:2	□	□	□	◎	◎	○	□	○ 一年生雑草・ﾎﾀﾙｲ、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘに有効な一年生持続型除草剤として +3～ﾉﾋﾞｴ1.5L、ﾎﾀﾙｲ2.0L [ﾉﾋﾞｴ葉齢限界、砂壌土での薬害について]
33	SB-554 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ [*科研,SDS]	ﾍﾞﾝｿﾞﾋﾞｼｸﾛﾝ:3.9 ﾍﾟﾝﾄｷｻｿﾞﾝ :3.9	□	□	□	○	○	○	○	□ 一発処理剤として(関東以西) +0～ﾉﾋﾞｴ1.5L、ﾎﾀﾙｲ1.0L [効果確認(北海道～北陸)、ｳﾘｶﾜに対する効果について]
34	SB-559Ⓗ-1kg 粒 [*SDS,ｸﾐ化]	ｶﾌｪﾝｽﾄﾛｰﾙ :3 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:0.75 ﾍﾞﾝｿﾞﾋﾞｼｸﾛﾝ:2	○	□						○ 一発処理剤として(北海道・東北) +5～ﾉﾋﾞｴ2.5L、ﾎﾀﾙｲ2.5L [ﾉﾋﾞｴ殺草葉齢について]
35	SB-559Ⓛ-1kg 粒 [*SDS,ｸﾐ化]	ｶﾌｪﾝｽﾄﾛｰﾙ :2.1 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:0.51 ﾍﾞﾝｿﾞﾋﾞｼｸﾛﾝ:2			○	○	○	○	○	○ 一発処理剤として(北陸以西) +5～ﾉﾋﾞｴ2.5L、ﾎﾀﾙｲ2.5L [ﾉﾋﾞｴ殺草葉令について(九州)]
36	SW-021-1kg 粒 [三共]	H485(新規):3 未公開(既知):6		□		○		□	□	□ 一年生・多年生雑草対象 [ﾉﾋﾞｴに対する効果について、砂壌土での薬害について]
37	SW-022Ⓗ-1kg 粒 [三共]	ﾋﾟﾗｿﾞﾚｰﾄ :15 ﾌﾞﾀｸﾛｰﾙ :10 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:0.75	○	○						○ 一発処理剤として(北海道・東北) +0～ﾉﾋﾞｴ2.0L、ﾎﾀﾙｲ2.0L
38	SW-022Ⓛ-1kg 粒 [三共]	ﾋﾟﾗｿﾞﾚｰﾄ :15 ﾌﾞﾀｸﾛｰﾙ :8 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:0.51			○	○	○	○	○	○ 一発処理剤として(北陸以西) +0～ﾉﾋﾞｴ2.0L、ﾎﾀﾙｲ2.0L [ﾉﾋﾞｴ葉齢限界について]
39	SW-023Ⓗ-1kg 粒 [三共]	ｱﾆﾛﾎｽ :4.5 ｸﾛﾒﾌﾟﾛｯﾌﾟ :3 ﾌﾞﾛﾓﾌﾞﾁﾄﾞ :6 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:0.75	○	○						○ 一発処理剤として(北海道・東北) +3～ﾉﾋﾞｴ2.5L、ﾎﾀﾙｲ2.5L [ﾉﾋﾞｴ葉齢限界について]
40	SW-023Ⓛ-1kg 粒 [三共]	ｱﾆﾛﾎｽ :4.5 ｸﾛﾒﾌﾟﾛｯﾌﾟ :3 ﾌﾞﾛﾓﾌﾞﾁﾄﾞ :6 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:0.51			○	○	□	○	○	○ 一発処理剤として(北陸以西) +3～ﾉﾋﾞｴ2.5L、ﾎﾀﾙｲ2.5L [ﾉﾋﾞｴ葉齢限界について]
41	SW-024Ⓗ ｼﾞｬﾝﾎﾞ [*三共,ﾃﾞｭﾎﾟﾝ]	ﾌｪﾝﾄﾗｻﾞﾐﾄﾞ :7.5 ﾌﾞﾛﾓﾌﾞﾁﾄﾞ :15 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:1.87	○	□						○ 一発処理剤として(北海道・東北) +3～ﾉﾋﾞｴ2.5L、ﾎﾀﾙｲ2.5L [ﾉﾋﾞｴ葉齢限界について]

NO	薬剤名・剤型 [委託者]	有効成分及び含有率 (%)	実施場所別総合評価 北海道	古川	新潟	植調研	滋賀	福岡	広島砂壌土	中央判定 [今後の検討課題]
42	SW-024Ⓛ ｼﾞｬﾝﾎﾞ [*三共,ﾃﾞｭﾎﾟﾝ]	ﾌｪﾝﾄﾗｻﾞﾐﾄﾞ :7.5 ﾌﾞﾛﾓﾌﾞﾁﾄﾞ :15 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:1.27			○	○	○	○	○	○ 一発処理剤として（北陸以西） +3～ﾉﾋﾞｴ2.5L、ﾎﾀﾙｲ2.5L [ﾉﾋﾞｴ葉齢限界について]
43	SYJ-106 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ [ｼﾝｼﾞｪﾝﾀ]	ｲﾏｿﾞｽﾙﾌﾛﾝ:18g/L ﾋﾟﾘﾌﾀﾘﾄﾞ :24g/L ﾌﾟﾚﾁﾗｸﾛｰﾙ:120g/L	○	○	○	○	○	○	○	○ 一発処理剤として +5～ﾉﾋﾞｴ3.0L、ﾎﾀﾙｲ3.0L
44	SYJ-107 ｼﾞｬﾝﾎﾞ [*ｼﾝｼﾞｪﾝﾀ,日産]	ﾋﾟﾗｿﾞｽﾙﾌﾛﾝｴﾁﾙ:0.7 ﾋﾟﾘﾌﾀﾘﾄﾞ :4 ﾌﾟﾚﾁﾗｸﾛｰﾙ :20	○	○	○	○	□	○	□	○ 一発処理剤として +5～ﾉﾋﾞｴ3.0L、ﾎﾀﾙｲ3.0L [砂壌土での薬害について]
45	SYJ-108 ｼﾞｬﾝﾎﾞ [*ｼﾝｼﾞｪﾝﾀ,日産]	ﾋﾟﾗｿﾞｽﾙﾌﾛﾝｴﾁﾙ:0.7 ﾋﾟﾘﾌﾀﾘﾄﾞ :5 ﾌﾟﾚﾁﾗｸﾛｰﾙ :15 ｼﾞﾒﾀﾒﾄﾘﾝ :2	◎	○	○	○	○	○	□	○ 一発処理剤として +5～ﾉﾋﾞｴ3.0L、ﾎﾀﾙｲ3.0L [砂壌土での薬害について]
46	TH-001Ⓛ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ [SDS]	ｲﾏｿﾞｽﾙﾌﾛﾝ :1.8 ｶﾌｪﾝｽﾄﾛｰﾙ :4.2 ﾀﾞｲﾑﾛﾝ :8 ﾍﾞﾝｿﾞﾋﾞｼｸﾛﾝ:4(W/V)			○	○	◎	○	○	○ 一発処理剤として（北陸以西） +3～ﾉﾋﾞｴ2.0L、ﾎﾀﾙｲ2.0L
47	YH-651 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ [八洲]	HSA-961:3.6 ｸﾐﾙﾛﾝ :20	□	□	○	○	□	○	□	○ 一年生持続型除草剤として（北陸以西） 移植前(-4以前)、+3～ﾉﾋﾞｴ1.5L、ﾎﾀﾙｲ1.0L [ホタルイに対する効果の検討(北海道、東北)]
48	YH-652 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ [八洲]	HSA-961 :3.6 ﾍﾞﾝｿﾞﾋﾞｼｸﾛﾝ:4 ﾍﾞﾝｿﾞﾌｪﾅｯﾌﾟ:14.5	□	□	○	○	◎	○	□	○ 一発処理剤として +5～ﾉﾋﾞｴ2.5L、ﾎﾀﾙｲ2.5L [北海道でのﾎﾀﾙｲ効果、九州および砂壌土での薬害について]
49	YH-652-1kg 粒 [八洲]	HSA-961 :2 ﾍﾞﾝｿﾞﾋﾞｼｸﾛﾝ:2 ﾍﾞﾝｿﾞﾌｪﾅｯﾌﾟ:8	□	□	□	○	◎	△	□	□ 一発処理剤として +5～ﾉﾋﾞｴ2.5L、ﾎﾀﾙｲ2.0L [ﾉﾋﾞｴ、ﾎﾀﾙｲ効果安定化、砂壌土での薬害について]
50	YH-653-1kg 粒 [八洲]	MCPB :2.4 ｱﾆﾛﾎｽ :4 ｼﾒﾄﾘﾝ :4.5 ﾍﾞﾝﾌﾚｾｰﾄ:6	○	□	○	○	◎	○	○	○ 茎葉兼土壌処理剤として ﾉﾋﾞｴ3.5L、ﾎﾀﾙｲ3.5L [ﾉﾋﾞｴ3.5L期効果について]
51	YH-655-1kg 粒 [*ﾊﾞｲｴﾙ,日産,八洲]	ﾀﾞｲﾑﾛﾝ :4.5 ﾋﾟﾗｿﾞｽﾙﾌﾛﾝｴﾁﾙ:0.3 ﾌｪﾝﾄﾗｻﾞﾐﾄﾞ :2		○	○	○	○	○	○	○ 一発処理剤として（東北以南） +0～ﾉﾋﾞｴ2.0L、ﾎﾀﾙｲ2.0L
52	ﾓﾘﾈｰﾄSM ｼﾞｬﾝﾎﾞ [*八洲,ｼﾝｼﾞｪﾝﾀ]	MCPB :2.4 ｼﾒﾄﾘﾝ:4.5 ﾓﾘﾈｰﾄ:24	□	△	□	○	○			○ 茎葉兼土壌処理剤として（北海道～近畿） ﾉﾋﾞｴ3.5L、ﾎﾀﾙｲ3.5L [効果確認]
53	SCHL-001-1kg 粒 [住商ｱｸﾞﾛ]	未公開（新規）:0.3		○	□					□ 一発処理剤として（東北、北陸） +3～ﾉﾋﾞｴ2.0L、ﾎﾀﾙｲ2.0L [一年生広葉雑草、ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘに対する効果について]
54	SW-025Ⓗ ｼﾞｬﾝﾎﾞ (旧HSW-984) [*三共,ﾃﾞｭﾎﾟﾝ]	ｶﾌｪﾝｽﾄﾛｰﾙ :4.2 ﾌﾞﾛﾓﾌﾞﾁﾄﾞ :12 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:1.5 ﾀﾞｲﾑﾛﾝ :9		○						○ 一発処理剤として（東北） +3～ﾉﾋﾞｴ2.0L、ﾎﾀﾙｲ2.0L
55	SL-0201 ｼﾞｬﾝﾎﾞ [石原]	ｶﾌｪﾝｽﾄﾛｰﾙ :8.4 ﾍﾞﾝｿﾞﾋﾞｼｸﾛﾝ:8	□	□	□	○	○	□	□	□ 一年生持続型除草剤として（北陸以西） +3～ﾉﾋﾞｴ1.5L [ホタルイに対する効果（北海道・東北）、広葉に対する持続性、砂壌土での薬害について]

第3表 平成14年度 水稲関係除草剤適-2試験成績判定結果一覧

区 分	実・継	継
Ⅱ-2 移植前後土壌処理		
Ⅱ-2-(1)	AVH-006 フロアブル, CG-113 EW, KPP-2008 乳(EW), KPP-2011 フロアブル, RYH-115 フロアブル, SB-528Ⓛ フロアブル, ﾌﾟﾀｸﾛｰﾙ-1kg 粒	KH-183Ⓛ-1kg 粒, KPP-2008-1kg 粒, KPP-2011-1kg 粒
Ⅱ-2-(2)	KPP-314Ⓛ フロアブル, KPP-2005Ⓗ フロアブル(少量散布)	
Ⅱ-3 移植後土壌処理		
Ⅱ-3-(1)	HSW-012 フロアブル	HSW-021-1kg 粒
Ⅱ-3-(2)	KH-183 粒, MY-100MS フロアブル(少量散布)	
Ⅱ-5 適用時期拡大	KUH-983-1kg 粒, MY-100TS フロアブル, SB-551-1kg 粒, YH-591-1kg 粒	DASH-001 SC, YH-653-1kg 粒
Ⅱ-6-(1) クログワイ対象	AC-014A-1kg 粒, AC-014R ジャンボ, AVH-002-1kg 粒, KPP-2005 ジャンボ, KPP-2005Ⓗ フロアブル(少量散布), KUH-958 フロアブル, KUH-972D フロアブル, KUH-972K フロアブル, KUH-975PD ジャンボ, KUH-975PK ジャンボ, KUH-985 フロアブル, KUH-985Ⓛ フロアブル, KUH-986D-0.25kg 粒, NH-803 フロアブル, NH-804 フロアブル, NH-806 ジャンボ, SW-002 フロアブル	KUH-003D-0.25kg 粒, KUH-003K-0.25kg 粒, KUH-004D-1kg 粒, KUH-004K-1kg 粒, MAT-159 ジャンボ, MY-100DC フロアブル, MY-100DCⓁ フロアブル, MY-100DC-1kg 粒, MY-100DCⓁ-1kg 粒, NH-003-1kg 粒, NOJ-101-1kg 粒, SW-002Ⓛ フロアブル, YH-651 フロアブル, YH-652 フロアブル
Ⅱ-6-(2) オモダカ対象	AC-014A-1kg 粒, AC-014R ジャンボ, AVH-002-1kg 粒, KUH-972D フロアブル, KUH-972K フロアブル, KUH-975PD ジャンボ, KUH-975PK ジャンボ, KUH-985 フロアブル, KUH-985Ⓛ フロアブル, KUH-986D-0.25kg 粒, MY-100DC フロアブル, NH-803 フロアブル, NH-804 フロアブル, NH-806 ジャンボ, SW-002 フロアブル	KUH-003D-0.25kg 粒, KUH-003K-0.25kg 粒, KUH-004D-1kg 粒, KUH-004K-1kg 粒, MY-100DCⓁ フロアブル, MY-100DC-1kg 粒, MY-100DCⓁ-1kg 粒, NH-003-1kg 粒, NOJ-101-1kg 粒, SW-002Ⓛ フロアブル, TH-001 フロアブル
Ⅱ-6-(5) シズイ対象	KUH-972K フロアブル, KUH-985 フロアブル	KUH-003K-0.25kg 粒, KUH-004K-1kg 粒, KUH-013K-0.25kg 粒, NH-803 フロアブル, NOJ-101-1kg 粒, SB-533 フロアブル, SB-554 ジャンボ
Ⅱ-6-(6) エゾノサヤヌカグサ対象	NH-803 フロアブル, TH-001 フロアブル	

区　分	実・継	継
Ⅱ-6-(7) クサネム対象	KUH-911 液	
Ⅱ-6-(8) コウキヤガラ対象	SW-002 フロアブル	
Ⅱ-6-(10) その他 ミズアオイ	AC-014A-1kg 粒,　HOK-983 フロアブル, HSW-001 フロアブル,　HSW-951 フロアブル, KPP-2008 乳(EW), KUH-958 フロアブル(少量散布), KUH-992-0.25kg 粒,　NH-003-1kg 粒, NH-803 フロアブル,　SB-528 フロアブル, SB-533 フロアブル,　SB-556 フロアブル, SW-002 フロアブル,　SW-965 ジャンボ, ﾌﾞﾀｸﾛｰﾙ-1kg 粒	AGH-975 フロアブル,　HSW-012 フロアブル, KUH-003K-0.25kg 粒,　KUH-013K-0.25kg 粒, KUH-021-1kg 粒,　Mon-923-1kg 粒, TH-001 フロアブル,　YH-591-1kg 粒, SB-533P5(改) ジャンボ
イボクサ	NH-804 フロアブル,　NH-806 ジャンボ, SL-498-1kg 粒,　SL-970 フロアブル	KUH-911 液
Ⅲ 直播栽培	KUH-972D フロアブル,　KUH-985 フロアブル, KUH-985Ⓛ フロアブル,　NBA-941-1kg 粒, SW-002 フロアブル,　ﾓﾘﾈｰﾄSM-1kg 粒	NBA-941S-1kg 粒,　PSSⓁD-1kg 粒, SW-002Ⓛ フロアブル
不耕起直播		Mon-007 水和,　ﾌﾞﾀｸﾛｰﾙ 乳
Ⅳ 畦畔雑草 刈取代用	MON-001 液,　YF-65Ⓛ 液, ZK-122 液	
Ⅴ 耕起前	ZK-122 液	F-702 液
Ⅵ 休耕田	MON-001 液,　ZK-122 液	NH-007 フロアブル
Ⅶ-1 初期一発処理剤	AVH-002-1kg 粒,　HOK-983 フロアブル, Mon-923-1kg 粒,　Mon-923Ⓛ-1kg 粒, MY-100MS フロアブル,　NBA-076a-1kg 粒, NBA-076b-1kg 粒,　NBA-131a-1kg 粒, NBA-131b-1kg 粒,　NC-397-1kg 粒, SB-554 フロアブル,　HSW-951 フロアブル, KPP-932-1kg 粒	NBA-142-1kg 粒,　SW-022Ⓗ-1kg 粒, SW-022Ⓛ-1kg 粒,　TH-001Ⓛ フロアブル, YH-655-1kg 粒

区　分	実・継	継
Ⅶ-2 初・中期一発処理剤	DHN-971 フロアブル, DHN-971Ⓛ フロアブル, HJ-943-1kg 粒, HSW-001 フロアブル, KUH-004D-1kg 粒, KUH-004K-1kg 粒, KUH-011D-1kg 粒, KUH-011K-1kg 粒, KUH-985Ⓛ フロアブル, MK-243D-1kg 粒, MY-100D フロアブル, MY-100D-1kg 粒, MY-100DⓁ-1kg 粒, MY-100DC フロアブル, MY-100DCⓁ フロアブル, MY-100DC-1kg 粒, MY-100DCⓁ-1kg 粒, MY-100NC 顆粒水和, MY-100NC-1kg 粒, MY-100NDC-1kg 粒, MY-100TS フロアブル, MY-100TSC フロアブル, NBA-071-1kg 粒, NBA-071DEH-1kg 粒, NBA-073-1kg 粒, NBA-941S-1kg 粒, NC-339-1kg 粒, NC-385 顆粒水和, NC-385SB 顆粒水和, NC-390 フロアブル, NH-003-1kg 粒, NH-102 フロアブル, NH-104-1kg 粒, NH-803 フロアブル, NH-804 フロアブル, NOJ-101-1kg 粒, NOJ-102 顆粒水和, NOJ-103-1kg 粒, NOJ-104-1kg 粒, SB-556 フロアブル, SW-002 フロアブル, SW-002Ⓛ フロアブル, SW-012Ⓗ-1kg 粒, SW-012Ⓛ-1kg 粒, TH-001 フロアブル, TH-913ADE-1kg 粒, TH-913NCS フロアブル, YH-546(旧 NSK-546) フロアブル, YH-641-1kg 粒, MY-100N 顆粒水和, KUH-985 フロアブル	AVH-302 フロアブル, HOK-222 フロアブル, HOK-223 フロアブル, KUH-021-1kg 粒, KUH-022K-1kg 粒, KUH-023D フロアブル, KUH-023K フロアブル, NBA-141a-1kg 粒, NBA-141b-1kg 粒, NC-385SB-1kg 粒, NC-399-1kg 粒, NC-604 フロアブル, SB-559Ⓗ-1kg 粒, SB-559Ⓛ-1kg 粒, SW-023Ⓗ-1kg 粒, SW-023Ⓛ-1kg 粒, SYJ-106 フロアブル, YH-652 フロアブル, YH-652-1kg 粒
Ⅶ-3 長期持続型一発処理剤	AC-014A-1kg 粒	
Ⅸ 一年生持続型		SB-526 フロアブル, SB-526-1kg 粒, YH-651 フロアブル
Ⅹ 少量拡散型粒剤		
移植後土壌処理	KUH-992-0.25kg 粒,	
一発処理剤	KUH-003D-0.25kg 粒, KUH-003K-0.25kg 粒, KUH-013D-0.25kg 粒, KUH-013K-0.25kg 粒, KUH-986D-0.25kg 粒, NH-802-0.5kg 粒, KUH-986K-0.25kg 粒	BAG-022-0.3kg 粒, KUH-023D-0.25kg 粒, KUH-023K-0.25kg 粒
一年生持続型	MK-243S-0.5kg 粒	
ⅩⅠ 生物除草剤	MTB-951	

ジャンボ剤

区　分	実・継		継	
Ⅱ-2　移植前後土壌処理	CG-113(改),	KPP-2005,		
	MAT-159,	ﾌﾞﾀｸﾛｰﾙ		
Ⅱ-5　適用時期拡大	MK-243SM		ﾓﾘﾈｰﾄSM	
Ⅶ　一発処理剤	AC-014CⓁ,	AC-014R,	AVH-003,	BAG-021,
	HSA-971,	KUH-003D,	HOK-221,	KUH-013D,
	KUH-003K,	KUH-975PK,	KUH-013K,	NCM-451,
	MY-100DCⓗ,	MY-100MS,	SYJ-107,	SYJ-108
	MY-100NC,	NBA-093(改),		
	NBA-101,	NC-391Ⓛ,		
	NCH-903DEH,	NH-101,		
	NH-806,	ONC-381,		
	SB-554,	SL-954,		
	SW-024ⓗ,	SW-024Ⓛ,		
	SW-952Ⓛ,	TH-005,		
	TH-913CS,	THI-913CS,		
	SW-025ⓗ(旧 HSW-984),	KUH-975PD		
Ⅸ　一年生持続型	HOK-991,	SB-533P5(改)	SL-0201	

注):1)本年度新規に使用基準を作成されたものは、薬剤名にアンダーラインを記した。

2)本年度は「実」,「継？」及び「中止」と判定された薬剤はなかった。

省力タイプの高性能一発処理除草剤シリーズ

問題雑草を一掃!!

クサストップ協議会　デュポン株式会社　三菱化学株式会社
事務局　日本農薬株式会社

お問い合わせ先　日本農薬株式会社
東京都中央区日本橋1丁目2番5号

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。＊空容器は圃場に放置せず、環境に影響のないように適切に処理してください。

平成14年度　水稲作関係除草剤使用基準一覧表

Ⅱ-2　移植前後土壌処理

Ⅱ-2-(1)
AVH-006 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														500ml/10a		
東北	●1	●	●始								●前		植代後～-4,+0～+5(ノビエ1L)			●
北陸																
関東・東海（普）	●1	●	●始								●前		植代後～-4,+0～+5(ノビエ1L)			●
近・中・四　（普）	●1	●	●始								●前					●
九州　（普）	●1	●	●始													●

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:　深水条件では薬害を生じることがある。

Ⅱ-2-(1)
CG-113 EW

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始	○始									+0～+5(ノビエ1L)	100ml/10a（原液または500ml/10a以下の散布液量に希釈）	○	○
東北	○1	○	○始		○始								植代後～-4,+0～+5(ノビエ1L)		●	○
北陸	○1	○	○始		○始										○	○
関東・東海	○1	○	○始		○始										○	○
近・中・四	○1	○	○始		○始										○	○
九州	○1	○	○始		○始										○	○

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅱ-2-(1)　KH-183Ⓛ-1kg　粒　「継」

Ⅱ-2-(1)
KPP-2008 乳(EW)

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始	○前								ミズアオイ:始	+0～+5(ノビエ1L)	500ml/10a	●	○
東北	○1	○	○始		○始								植代後～-4,+0～+5(ノビエ1L)			○
北陸	○1	○	○始		○始										●	○
関東・東海	○1	○	○始		○始										●	○
近・中・四　~~(普)~~	○1	○	○始		○始										●	○
九州	○1	○	○始		○始										●	○

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:　深水条件では薬害を生じることがある。
　　イネに付着すると軽微な薬害を生じることがある。

Ⅱ-2-(1)　KPP-2008-1kg　粒　「継」

Ⅱ-2-(2)
KPP-2011 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●1	●	●始	●始									+0～+5(ノビエ1L)	500ml/10a		●
東北	●始	●											植代後～-4, +0～+5(ノビエ始)			●
北陸	●1	●	●始		●前								植代後～-4,+0～+5(ノビエ1L)			●
関東・東海（普）	●始	●	●前		●前								植代後～-4,+0～+5(ノビエ始)			●
近・中・四（普）	●1	●	●始		●前								植代後～-4,+0～+5(ノビエ1L)			●
九州																

一発処理型除草剤の前処理として使用する。
減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅱ-2-(1) KPP-2011-1kg 粒　「継」

Ⅱ-2-(2)
RYH-115 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始										+0～+5(ノビエ1L)	500ml/10a		○
東北	○1	○	○始										植代後～-4,+0～+5(ノビエ1L)		○	○
北陸	○1	○	○始												○	○
関東・東海	○1	○	○始												○	○
近・中・四	○1	○	○始												○	○
九州	○1	○	○始												○	○

一発処理型除草剤の前処理として使用する。
減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅱ-2-(1)
SB-528① ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●1	●	●始	●始									+0～+5(ノビエ1L)	500ml/10a		●
東北	●始	●	●始										植代後～-4,+0～+5(ノビエ始)			●
北陸	●1	●	●前		●前								植代後～-4,+0～+5(ノビエ1L)			●
関東・東海	●1	●	●始		●始											●
近・中・四	●1	●	●始		●前										●	●
九州	●1	●	●始	●前	●始										●	●

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅱ-2-(1)
ﾌﾞﾀｸﾛｰﾙ-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始	○前								ミズアオイ:始	+1～+5(ノビエ1L)	1kg/10a	○	○
東北	○1	○	○始		○始								植代後～-4,+1～+5(ノビエ1L)		●	○
北陸	○1	○	○始		○始										○	○
関東・東海	○1	○	○始		○始										○	○
近・中・四 ~~(普)~~	○1	○	○始		○始										●	○
九州	○1	○	○始		○始										○	○

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:　浅植え、植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。

Ⅱ-2-(2)
KPP-314Ⓛ フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○始	○											植代後～-4,+0～+5(ノビエ始)	500ml/10a	○	○
東北	○始	○													○	○
北陸	○始	○													○	○
関東・東海	○始	○													○	○
近・中・四	○始	○											植代後～-4,+0～+3(ノビエ始)		○	○
九州	○始	○													○	○

水口処理可能
田植同時散布可能(北陸～九州)
減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 深水条件では薬害を生じることがある。

Ⅱ-2-(2)
KPP-2005Ⓗ フロアブル(少量)

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始										+0～+5(ノビエ1L)	300ml/10a	○	○
東北	○1	○	○始		○前		●前※						植代後～-4,+0～+5(ノビエ1L)		○	○
北陸	○1	○	○始		○始										○	○
関東・東海	○1	○	○始		○始		●前※								○	○
近・中・四	○1	○	○始		○始		●前※								○	○
九州	○1	○	○始		○始		●前※					コウキヤガラ:発生始			○	○

一発処理型除草剤の前処理として少量散布(300ml/10a)が可能。
※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深:2cm/日以下
使用上の注意: クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-3 移植後土壌処理

Ⅱ-3-(1)
HSW-012 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●1.5	●	●始	●始		●始			●発生期				+0～ノビエ1.5L	500ml/10a		●
東北																
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅱ-3-(1) HSW-021-1kg 粒 「継」

Ⅱ-3-(2)
KH-183 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●1	●	●始	●始							●始		+3～+5(ノビエ1L)	2kg/10a		●
東北	●1	●	●始								●始					●
北陸	●1	●	●前								●始					●
関東・東海																
近・中・四																
九州																

一発処理型除草剤の前処理として少量散布(2kg/10a)が可能。(北海道～北陸)
減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅱ-3-(2)
MY-100MS フロアブル(少量)

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●1	●	●始	●始		●始							+0～+5(ノビエ1L)	300ml/10a		●
東北	●1	●	●始	●始	●始											●
北陸	●1	●	●始		●前	●前										●
関東・東海 (普)	●1	●	●始		●始	●始										●
近・中・四 (普)	●1	●	●始		●始	●始							+0～+5(ノビエ1L)(砂壌土は+4～)		●	●
九州	●1	●	●始		●始								+0～+5(ノビエ1L)		●	●

一発処理型除草剤の前処理として少量散布(300ml/10a)が可能。
減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅱ-5 適用時期拡大

Ⅱ-5 DASH-001 SC 「継」

Ⅱ-5
KUH-983-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○4												+15～+35(ノビエ4L)	1kg/10a		○
東北	○4														○	○
北陸	○4															○
関東・東海 (普)	○4															○
近・中・四	○4														○	○
九州 (普)	○4														○	○

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-5
MY-100TS フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														500ml/10a		
東北																
北陸																
関東・東海																
近・中・四 (普)	●2.5	●	●2		●2	●2				●再生前～始			+5～+20(ノビエ2.5L)		●	●
九州																

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-5
SB-551-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北																
北陸	●3	●	●3		●2	●2							+20～+30(イネ5L以降,ノビエ3Lまで)			●
関東・東海 (~~普~~)	○3	○	○3		○2	○2			○発生期						●	○
近・中・四 (~~普~~)	○3	○	○3		○2	○2			○発生期						●	○
九州	○3	○	○3		○2				○発生期						○	○

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。
前処理剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-5
YH-591-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2			○2					○始		+20～+30(イネ5L以降,ノビエ3Lまで)	1kg/10a		○
東北	○3	○	○2		○始	○始									○	○
北陸	○3	○	○2		○始	○2					○前				○	○
関東・東海	○3	○	○3		○3	○3					○始				○	○
近・中・四	○3	○	○3		○3	○3					○始					○
九州																

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 著しい高温条件では薬害を生じることがある。
散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。
前処理剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-5 YH-653-1kg 粒 「継」

Ⅱ-6-(1) クログワイ対象

Ⅱ-6-(1)
AC-014A-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				1kg/10a
東北	●	前	※	
北陸				
関東・東海	●	前	※	
近・中・四	●	前		
九州				

※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-6-(1)
AC-014R ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				20g×10コ/10a
東北	●	前	※	
北陸				
関東・東海	●	前	※	
近・中・四	●	前	※	
九州	●	前	※	

※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-6-(1)
AVH-002-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				1kg/10a
東北	●	前	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-6-(1)
KPP-2005 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				50g×10コ/10a
東北	●	前	※	
北陸				
関東・東海	●	前	※	
近・中・四	●	前	※	
九州	●	前	※	

※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-6-(1)
KPP-2005㊙ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ(少量)

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				300ml/10a
東北	●	前	※	
北陸				
関東・東海	●	前	※	
近・中・四	●	前	※	
九州	●	前	※	

※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-6-(1) KUH-003D-0.25kg 粒 「継」

Ⅱ-6-(1) KUH-003K-0.25kg 粒 「継」

Ⅱ-6-(1) KUH-004D-1kg 粒 「継」

Ⅱ-6-(1) KUH-004K-1kg 粒 「継」

Ⅱ-6-(1)
KUH-958 フロアブル

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				500ml/10a
東北	○	前	※	
北陸				
関東・東海	○	前	※	
近・中・四	●	前	※	
九州	●	前	※	

※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-6-(1)
KUH-972D フロアブル

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				500ml/10a
東北				
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	前	※	
九州				

※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-6-(1)
KUH-972K フロアブル

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				500ml/10a
東北	●	前	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-6-(1)
KUH-975PD ジャンボ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				25g×10コ/10a
東北				
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始		
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-6-(1)
KUH-975PK ジャンボ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				25g×10コ/10a
東北	●	前	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-6-(1)
KUH-985 フロアブル

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				500ml/10a
東北	●	前	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-6-(1)
KUH-985① フロアブル

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				500ml/10a
東北				
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-6-(1)
KUH-986D-0.25kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				250g/10a
東北				
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始		
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-6-(1) MAT-159 ジャンボ 「継」

Ⅱ-6-(1) MY-100DC フロアブル 「継」

Ⅱ-6-(1) MY-100DC① フロアブル 「継」

Ⅱ-6-(1) MY-100DC-1kg 粒 「継」

Ⅱ-6-(1) MY-100DC①-1kg 粒 「継」

Ⅱ-6-(1) NH-003-1kg 粒 「継」

Ⅱ-6-(1)
NH-803 フロアブル

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				500ml/10a
東北	●	前	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-6-(1)
NH-804 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				500ml/10a
東北				
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-6-(1)
NH-806 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				50g×10ｺ/10a
東北				
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-6-(1) NOJ-101-1kg 粒 「継」

Ⅱ-6-(1)
SW-002 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				500ml/10a
東北	●	前	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-6-(1) SW-002Ⓛ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ 「継」

Ⅱ-6-(1) YH-651 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ 「継」

Ⅱ-6-(1) YH-652 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ 「継」

Ⅱ-6-(2) オモダカ対象

Ⅱ-6-(2)
AC-014A-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道	○	前	※	1kg/10a
東北	●	前	※	
北陸	●	前	※	
関東・東海	●	前	※	
近・中・四	○	前	※	
九州				

※:オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-6-(2)
AC-014R ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道	●	前	※	20g×10コ/10a
東北	●	前	※	
北陸	●	前	※	
関東・東海	●	前	※	
近・中・四	●	前	※	
九州	●	前	※	

※:オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-6-(2)
AVH-002-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道	●	前		1kg/10a
東北	●	前	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-6-(2) KUH-003D-0.25kg 粒 「継」

Ⅱ-6-(2) KUH-003K-0.25kg 粒 「継」

Ⅱ-6-(2) KUH-004D-1kg 粒 「継」

Ⅱ-6-(2) KUH-004K-1kg 粒 「継」

Ⅱ-6-(2)
KUH-972D ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				500ml/10a
東北				
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始		
九州				

※:オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-6-(2)
KUH-972K ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				500ml/10a
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-6-(2)
KUH-975PD ジャンボ

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				25g×10コ/10a
東北				
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始		
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-6-(2)
KUH-975PK ジャンボ

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				25g×10コ/10a
東北	●	前	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-6-(2)
KUH-985 フロアブル

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				500ml/10a
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-6-(2)
KUH-985Ⓛ フロアブル

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				500ml/10a
東北				
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-6-(2)
KUH-986D-0.25kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				250g/10a
東北				
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始		
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-6-(2)
MY-100DC フロアブル

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道	○	前		500ml/10a
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-6-(2) MY-100DC① フロアブル 「継」

Ⅱ-6-(2) MY-100DC-1kg 粒 「継」

Ⅱ-6-(2) MY-100DC①-1kg 粒 「継」

Ⅱ-6-(2) NH-003-1kg 粒 「継」

Ⅱ-6-(2)
NH-803 フロアブル

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道	●	前		500ml/10a
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-6-(2)
NH-804 フロアブル

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				500ml/10a
東北				
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-6-(2)
NH-806 ジャンボ

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				50g×10コ/10a
東北				
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-6-(2) NOJ-101-1kg 粒 「継」

Ⅱ-6-(2)
SW-002 フロアブル

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道	○	前		500ml/10a
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意:オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-6-(2) SW-002Ⓛ フロアブル 「継」

Ⅱ-6-(2) TH-001 フロアブル 「継」

Ⅱ-6-(5) シズイ対象

Ⅱ-6-(5) KUH-003K-0.25kg 粒 「継」

Ⅱ-6-(5) KUH-004K-1kg 粒 「継」

Ⅱ-6-(5) KUH-013K-0.25kg 粒 「継」

Ⅱ-6-(5)
KUH-972K フロアブル

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			500ml/10a
東北	●	発生始～3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			

使用上の注意:シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-6-(5)
KUH-985 フロアブル

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			500ml/10a
東北	●	発生始～3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			

使用上の注意:シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-6-(5) NH-803 フロアブル 「継」

Ⅱ-6-(5) NOJ-101-1kg 粒 「継」

Ⅱ-6-(5) SB-533 フロアブル 「継」

Ⅱ-6-(5) SB-554 ジャンボ 「継」

Ⅱ-6-(6) エゾノサヤヌカグサ対象

Ⅱ-6-(6)
NH-803 フロアブル

地域名	対象雑草: エゾノサヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	2L	500ml/10a
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

Ⅱ-6-(6)
TH-001 フロアブル

地域名	対象雑草: エゾノサヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	2L	500ml/10a
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

Ⅱ-6-(7) クサネム対象

Ⅱ-6-(7)
KUH-911 液

地域名	対象雑草名	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
全域	クサネム	草丈40cm以下(+35～+50) (九州は 草丈30cm以下(+30～+50))	25～50ml/10a(散布液量100L/10a)
使用上の注意: 落水もしくは浅水で散布し、2日間以上入水しない。			

Ⅱ-6-(8) コウキヤガラ対象

Ⅱ-6-(8)
SW-002 フロアブル

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			500ml/10a
東北	●	始	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:コウキヤガラ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。			

Ⅱ-6-(10) その他

ミズアオイ
Ⅱ-6-(10)
AC-014A-1kg 粒

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	1L	1kg/10a
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

Ⅱ-6-(10) AGH-975 フロアブル 「継」

Ⅱ-6-(10)
HOK-983 フロアブル

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	1L	500ml/10a
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

Ⅱ-6-(10)
HSW-001 フロアブル

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	1L	500ml/10a
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

Ⅱ-6-(10) HSW-012 フロアブル 「継」

Ⅱ-6-(10)
HSW-951 フロアブル

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	1L	1000ml/10a
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

Ⅱ-6-(10)
KPP-2008 乳(EW)

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	始	500ml/10a
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

Ⅱ-6-(10) KUH-003K-0.25kg 粒 「継」

Ⅱ-6-(10) KUH-013K-0.25kg 粒 「継」

Ⅱ-6-(10) KUH-021-1kg 粒 「継」

Ⅱ-6-(10)
KUH-958 フロアブル(少量)

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	1L	300ml/10a
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

Ⅱ-6-(10)
KUH-992-0.25kg 粒

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	1L	250g/10a
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

Ⅱ-6-(10) Mon-923-1kg 粒 「継」

Ⅱ-6-(10)
NH-003-1kg 粒

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	1L	1kg/10a
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

Ⅱ-6-(10)
NH-803 フロアブル

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	1L	500ml/10a
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

Ⅱ-6-(10)
SB-528 フロアブル

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	始	500ml/10a
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

Ⅱ-6-(10)
SB-533 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	1L	500ml/10a
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

Ⅱ-6-(10)
SB-556 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	1L	500ml/10a
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

Ⅱ-6-(10)
SW-002 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	1L	500ml/10a
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

Ⅱ-6-(10)
SW-965 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	1L	50g×10ｺ/10a
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

Ⅱ-6-(10) TH-001 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ 「継」

Ⅱ-6-(10) YH-591-1kg 粒 「継」

Ⅱ-6-(10)
ブタクロール-1kg 粒

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	始	1kg/10a
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

Ⅱ-6-(10) SB-533P5(改) ジャンボ 「継」

イボクサ

Ⅱ-6-(10) KUH-911 液 「継」

Ⅱ-6-(10)
NH-804 フロアブル

地域名	対象雑草: イボクサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			500ml/10a
東北			
北陸			
関東・東海	●	再生始	
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

Ⅱ-6-(10)
NH-806 ジャンボ

地域名	対象雑草: イボクサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			50g×10コ/10a
東北			
北陸			
関東・東海	●	再生始	
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

Ⅱ-6-(10)
SL-498-1kg 粒

地域名	対象雑草: イボクサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			1kg/10a
東北			
北陸			
関東・東海	●	再生始	
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

Ⅱ-6-(10)
SL-970 フロアブル

地域名	対象雑草: イボクサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			500ml/10a
東北			
北陸			
関東・東海	●	再生始	
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

Ⅲ 直播栽培

Ⅲ
KUH-972D フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
関東・東海～九州	●3*	●	●2		●2	●2				●再生前～始	●前		イネ1L～ノビエ3L*(*:九州は2.5Lまで)	500ml/10a		●
湛水直播 湛水条件で使用する。 減水深:2cm/日以下 使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。																

Ⅲ
KUH-985 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道, 東北	●3	●	●2										イネ2L～ノビエ3L	500ml/10a		●
湛水直播 湛水条件で使用する。 減水深:2cm/日以下 使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。																

Ⅲ
KUH-985Ⓛ フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
関東・東海～九州	●3	●	●2		●2	●2				●再生前～始	●前		イネ1L～ノビエ3L*(*:九州は2.5Lまで)	500ml/10a		●
湛水直播 湛水条件で使用する。 減水深:2cm/日以下 使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。																

Ⅲ
NBA-941-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北	○3	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○再生前～始			イネ1.5L～ノビエ3L			○
北陸	○3	○	○2		○2	○2							イネ1L～ノビエ3L			○
関東・東海	○3	○	○2										イネ1.5L～ノビエ3L			○
近・中・四	○3	○	○2		○2					○再生前～始			イネ1L～ノビエ3L			○
九州	○3	○	○2		○2	○2										○
湛水直播(関東・東海,九州) 湛水条件で使用する。 減水深:2cm/日以下 使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。																

Ⅲ NBA-941S-1kg 粒 「継」

Ⅲ PSSⓁD-1kg 粒 「継」

Ⅲ
SW-002 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道,東北	●2.5	●	●始										イネ1.5L～ノビエ2.5L	500ml/10a		●

湛水直播
湛水条件で使用する。
減水深:2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

Ⅲ
ﾓﾘﾈｰﾄSM-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
全域(九州を除く)	○3.5	○	○2										イネ5L～ノビエ3.5L	1kg/10a		○

湛水条件で使用する。
減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 著しい高温条件では薬害を生じることがある。
散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。
前処理剤との組み合わせで使用する。

Ⅲ SW-002Ⓛ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ 「継」

Ⅲ 不耕起直播栽培

Ⅲ不耕起直播 Mon-007 水和 「継」

Ⅲ不耕起直播 ﾌﾞﾀｸﾛｰﾙ 乳 「継」

Ⅳ 畦畔雑草

Ⅳ
MON-001 液

地域名	対象雑草名	処理時期	使用量(散布液量)	適用土壌
全域	全草種(スギナを除く)	雑草生育期(草丈30cm以下)	250～500ml/10a(散布液量25～100L/10a, ただし25～50L/10aは専用ノズルを使用)	全土壌

使用上の注意: のり面には使用しない。
水田内に流入または飛散すると薬害を生じる。

Ⅳ
YF-65Ⓛ 液

地域名	対象雑草名	処理時期	使用量(散布液量)	適用土壌
全域	全草種	雑草生育期(草丈30cm以下)	一年生雑草:600～1000ml/10a 多年生雑草:1000～2000ml/10a (散布液量100L/10a)	全土壌

使用上の注意: のり面には使用しない。
水田内に流入または飛散すると薬害を生じる。

Ⅳ
ZK-122 液

地域名	対象雑草名	処理時期	使用量(散布液量)	適用土壌
全域	全草種(スギナを除く)	雑草生育期(草丈30cm以下)	一年生雑草:250～500ml/10a 多年生雑草:500～1000ml/10a (散布液量50L/10a, 専用ノズルを使用)	全土壌

使用上の注意: のり面には使用しない。
水田内に流入または飛散すると薬害を生じる。

Ⅴ 耕起前

Ⅴ F-702 液 「継」

Ⅴ
ZK-122 液

地域名	対象雑草名	処理時期	使用量(散布液量)	適用土壌
全域	一年生雑草	耕起5日前まで(草丈30cm以下)	250～500ml/10a(散布液量25～50L/10a, 専用ノズルを使用)	全土壌

使用上の注意:

Ⅵ 休耕田

Ⅵ
MON-001 液

地域名	対象雑草名	処理時期	使用量(散布液量)	適用土壌
全域	全草種(スギナを除く)	雑草生育期(草丈50cm以下)	250～500ml/10a(散布液量25～100L/10a, ただし25～50L/10aは専用ノズルを使用)	全土壌
使用上の注意:				

Ⅵ NH-007 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ 「継」

Ⅵ
ZK-122 液

地域名	対象雑草名	処理時期	使用量(散布液量)	適用土壌
全域	全草種(スギナを除く)	雑草生育期(草丈50cm以下)	一年生雑草:250～500ml/10a 多年生雑草:500～1000ml/10a (散布液量50L/10a, 専用ノズルを使用)	全土壌
使用上の注意:				

Ⅶ-1 初期一発処理剤

Ⅶ-1
AVH-002-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始		●前※	○発生期	○再生前～始	○前		+3～ノビエ1.5L	1kg/10a		○
東北	○1.5	○	○始	○始	○始	○始	●前※	●前※	○発生期	○再生前～始	○前					○
北陸	●1.5	●	●始		●始	●始										●
関東・東海	●1.5	●	●始		●始				●発生期	●再生前～始	●前					●
近・中・四																
九州																

※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深:2cm/日以下
使用上の注意: クログワイ・オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅶ-1
HOK-983 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○始		●始					○前	ﾐｽﾞｱｵｲ:1L	+0～ノビエ2L	500ml/10a	○	○
東北																
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

~~Ⅸとして~~ 田植同時散布可能(北海道)
減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅶ-1
Mon-923-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●1.5	●	●始	●始		●始			●発生期	●再生前～始	●前		+0～ノビエ1.5L	1kg/10a		●
東北	●1.5	●	●始	●始	●始	●始			●発生期	●再生前～始	●前					●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅶ-1
Mon-923①-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北																
北陸	●1.5	●	●始		●始	●前					●前		+0～ノビエ1.5L			●
関東・東海（普）	●1.5	●	●始		●始	●始			●発生期	●再生前～始	●前					●
近・中・四（普）	●1.5	●	●始		●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前					●
九州	●1.5	●	●始		●始	●始			●発生期	●再生前～始	●前					●

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅶ-1
MY-100MS フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始							+0～ノビエ1.5L	500ml/10a	●	○
東北	○1.5	○	○始	○始	○始	○始									●	○
北陸	○1.5	○	○始		○始	○始										○
関東・東海	○1.5	○	○始		○始	○始									●	○
近・中・四 ~~(普)~~	○1.5	○	○始		○始	○始									●	○
九州	○1.5	○	○始		○始	○始									●	○

田植同時散布可能(近畿・中国・四国～九州)
減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

Ⅶ-1
NBA-076a-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○2			○2		○前	○発生期	○再生前～始	○前	エゾノサヤヌカグサ:2L	+0～ノビエ2L	1kg/10a	○	○
東北	○2	○	○2	○2	○2	○始	○前※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:発生始～3cm			○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能
※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深:2cm/日以下
使用上の注意: クログワイ・オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅶ-1
NBA-076b-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北																
北陸	○2	○	○2		○2	○2				○再生前～始			+0～ノビエ2L		○	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2	○	○2		○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布可能
※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ・オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅶ-1
NBA-131a-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2	●	●2	●始		●始			●発生期	●再生前～始	●前		+0～ノビエ2L	1kg/10a		●
東北	●2	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始	●前					●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅶ-1
NBA-131b-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北																
北陸	●2	●	●2		●始	●始				●再生前～始	●前		+0～ノビエ2L			●
関東・東海	●2	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前					●
近・中・四	●2	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前				●	●
九州	●2	●	●2	●前	●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

Ⅶ-1 NBA-142-1kg 粒 「継」

Ⅶ-1
NC-397-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●1.5	●	●始	●始		●始			●発生期	●再生前～始	●前		+3～ノビエ1.5L	1kg/10a		●
東北	●1.5	●	●始		●始	●始			●発生期	●再生前～始	●前					●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅶ-1
SB-554 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														500ml/10a		
東北																
北陸																
関東・東海																
近・中・四 (普)	●1	●	●始		●始	●前							+0～+5(ノビエ1L)			●
九州	●1.5	●	●始	●前	●始				●発生期				+0～ノビエ1.5L			●

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅶ-1 SW-022Ⓗ-1kg 粒 「継」

Ⅶ-1 SW-022Ⓛ-1kg 粒 「継」

Ⅶ-1 TH-001Ⓛ フロアブル 「継」

Ⅶ-1 YH-655-1kg 粒 「継」

Ⅶ-1
HSW-951 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○2			○2					○前	エゾノサヤヌカグサ:2L ミズアオイ:1L	+0～ノビエ2L	1000ml/10a		○
東北																
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

水口処理可能　田植同時散布可能
減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅶ-1
KPP-932-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ1.5L	1kg/10a	○	○
東北	○1.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○1.5	○	○2	○2	○2	○2									○	○
関東・東海	○1.5	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○1.5	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布可能~~(東北, 関東・東海～九州)~~
減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

Ⅶ-2 初・中期一発処理剤

Ⅶ-2 AVH-302 フロアブル 「継」

Ⅶ-2
DHN-971 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	●始		○2		○前	○発生期	○再生前～始	○前	エゾノサヤヌカグサ:2L	+0～ノビエ2.5L	500ml/10a	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2		○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

水口処理可能(北海道～東北)
※:オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深:2cm/日以下
使用上の注意: オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅶ-2
DHN-971Ⓛ フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														500ml/10a		
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2				○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L		○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

Ⅶ-2
HJ-943-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L	1kg/10a		○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○2	○前※	○前※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2		○前※		○再生前～始	○前					○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○

※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ・オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅶ-2 HOK-222 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ 「継」

Ⅶ-2 HOK-223 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ 「継」

Ⅶ-2
HSW-001 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○始		○2			○発生期		○前	ｴｿﾞﾉｻﾔﾇｶｸﾞｻ:2L ﾐｽﾞｱｵｲ:1L	+0～ノビエ2.5L	500ml/10a	○	○
東北																
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能　　水口処理可能
減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅶ-2
KUH-004D-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北																
北陸	○3	○	○2		○2	○2				○再生前～始			+5～ノビエ3L		●	○
関東・東海	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
近・中・四 ~~(普)~~	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
九州	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

Ⅶ-2
KUH-004K-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ3L	1kg/10a	●	○
東北	○3	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅶ-2
KUH-011D-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●2	●2				●再生前～始			+3～ノビエ2.5L		●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前				●	●
近・中・四 (善)	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●
九州	●2.5	●	●2	●前	●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前				●	●

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

Ⅶ-2
KUH-011K-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●始		●2			●発生期	●再生前～始	●前		+3～ノビエ2.5L	1kg/10a		●
東北	●2.5	●	●2	●始	●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前				●	●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅶ-2 KUH-021-1kg 粒 「継」

Ⅶ-2 KUH-022K-1kg 粒 「継」

Ⅶ-2 KUH-023D フロアブル 「継」

Ⅶ-2 KUH-023K フロアブル 「継」

Ⅶ-2
KUH-985Ⓛ フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														500ml/10a		
東北																
北陸	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ3L		○	○
関東・東海	○3	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○3	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○3	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○

※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ・オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅶ-2
MK-243D-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始	●前		+5～ノビエ2.5L	1kg/10a		●
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前					●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅶ-2
MY-100D フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														500ml/10a		
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前		+0～ノビエ2.5L			●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅶ-2
MY-100D-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前		+5～ノビエ2.5L			●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅶ-2
MY-100DⓁ-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2				○再生前～始			±0～ノビエ2.5L (砂壌土は+5～)		○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L		○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

Ⅶ-2
MY-100DC フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○始		○始		○前	○発生期	○再生前～始	○前	エゾノサヤヌカグサ:2L	+0～ノビエ2.5L	500ml/10a	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始		●始※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:発生始～3cm	+0～ノビエ2.5L (砂壌土は+5～)		○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

水口処理可能(北海道～東北) 田植同時散布可能(北海道)
※:オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深:2cm/日以下
使用上の注意: オモダカ・シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅶ-2
MY-100DCⓁ フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														500ml/10a		
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ2.5L (砂壌土は+5～)		○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L		○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2	○前	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前	コウキヤガラ:発生始			○	○

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
コウキヤガラ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。

Ⅶ-2
MY-100DC-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○始		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L	1kg/10a	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅶ-2
MY-100DCⓁ-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2				○再生前～始			+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)		●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L		●	○
九州	○2.5	○	○2	○前	○2	○2			○再生前～始	○再生前～始	○前				○	○

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

Ⅶ-2
MY-100NC 顆粒水和

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	80g/10a(散布液量500ml/10a)		○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)		○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2				○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L		●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2	○前	○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

Ⅶ-2
MY-100NC-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○始		○始			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L	1kg/10a	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2				●再生前～始	●前				●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)		○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L		○	○
九州	○2.5	○	○2	○前	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

Ⅶ-2
MY-100NDC-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ3L	1kg/10a	○	○
東北	○3	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○2				○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

Ⅶ-2
MY-100TS フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	500ml/10a	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○前※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:発生始～3cm			○	○
北陸	○2.5	○	○2	○2	○2	○2				○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○前※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

水口処理可能(北海道，東北，関東・東海～九州)　田植同時散布可能(北海道，北陸)
※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ・オモダカ・シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅶ-2
MY-100TSC フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	500ml/10a	●	○
東北	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前					○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			●発生期	○再生前～始	●前				●	○
関東・東海 (普)	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
近・中・四 (普)	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前					●
九州																

田植同時散布可能(北陸)
減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅶ-2
NBA-071-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前	エゾノサヤヌカグサ:2L	+5～ノビエ2.5L	1kg/10a	●	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L (砂壌土は+5～)		○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			●発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L		○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

Ⅶ-2
NBA-071DEH-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●3	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始	●前		+5～ノビエ3L	1kg/10a		●
東北	●3	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●
北陸	●3	●	●2		●2	●2										●
関東・東海	●3	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●3	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●
九州	●3	●	●2	●始	●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

Ⅶ-2
NBA-073-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L	1kg/10a		○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○再生前～始	●前		+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)		○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L		○	○

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

Ⅶ-2 NBA-141a-1kg 粒 「継」

Ⅶ-2 NBA-141b-1kg 粒 「継」

Ⅶ-2
NBA-941S-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ3L	1kg/10a	○	○
東北	○3	○	○2	○始	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前					○
北陸																
関東・東海	●3	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始			+5～ノビエ3L			●
近・中・四																
九州																

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅶ-2
NC-339-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		○前※	○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L	1kg/10a		○
東北	○2.5	○	○2		○2	○2	○前※	○前※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:発生始～3cm				○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2		○始※	○発生期	○再生前～始	○前					○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○

※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ・オモダカ・シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅶ-2
NC-385 顆粒水和

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L	60g/10a(散布液量250～500ml/10a)	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸	○2.5	○	○2	○始	○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

顆粒のまま水口処理が可能(東北～近畿・中国・四国)

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

Ⅶ-2
NC-385SB 顆粒水和

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○始		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	80g/10a(散布液量500ml/10a)	●	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
北陸	●2.5	●	●2		●2	●2				●再生前～始						●
関東・東海 (普)	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●
九州																

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅶ-2 NC-385SB-1kg 粒 「継」

Ⅶ-2
NC-390 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2			○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ3L	500ml/10a	○	○
東北	○3	○	○2	○始	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:発生始～3cm			○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○2				○再生前～始	○前				●	○
関東・東海	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
近・中・四	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○3	○	○2		○2	○2				○再生前～始	○前				○	○

水口処理可能(東北, 関東・東海～近畿・中国・四国)
減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。

Ⅶ-2 NC-399-1kg 粒 「継」

Ⅶ-2 NC-604 フロアブル 「継」

Ⅶ-2
NH-003-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○始		○2			○発生期	○再生前～始	○前	ミズアオイ:1L	+5～ノビエ2.5L	1kg/10a	●	○
東北	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅶ-2
NH-102 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														500ml/10a		
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●2	●始				●再生前～始			+5～ノビエ2.5L			●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●
近・中・四 (普)	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前				●	●

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅶ-2
NH-104-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●2	●2				●再生前～始			+5～ノビエ2.5L			●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●
近・中・四 (普)	●2.5	●	●2		●2	●2				●再生前～始	●前				●	●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前				●	●

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅶ-2
NH-803 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		●前	○発生期	○再生前～始	○前	エゾノサヤヌカグサ:2L ミズアオイ:1L	+0～ノビエ2.5L	500ml/10a	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	●前※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前	クサネム:発生始	+5～ノビエ2.5L		○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

水口処理可能(東北)
※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深:2cm/日以下
使用上の注意: クログワイ・オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅶ-2
NH-804 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														500ml/10a		
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2				○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L		●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前	クサネム:発生始 イボクサ:再生始			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ・オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅶ-2
NOJ-101-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	●2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ3L	1kg/10a	○	○
東北	○3	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	●前					○
関東・東海	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:　田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
　　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。

Ⅶ-2
NOJ-102 顆粒水和

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ3L	100g/10a(散布液量500ml/10a)	○	○
東北	○3	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前					○
関東・東海	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
　　田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

Ⅶ-2
NOJ-103-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	●2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ3L	1kg/10a	○	○
東北	○3	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅶ-2
NOJ-104-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北																
北陸	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ3L		●	○
関東・東海	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○3	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
　　田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

Ⅶ-2
SB-556 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期			エゾノサヤヌカグサ:2L ミズアオイ:1L	+0～ノビエ2.5L	500ml/10a	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始			○発生期			シズイ:発生始～3cm			○	○
北陸	○2.5	○	○2		○始	○始			○発生期						○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2									○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			●発生期						○	○
九州	○2.5	○	○2	○前	○2	○2			○発生期						○	○

水口処理可能(北海道～北陸, 九州)
減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅶ-2 SB-559Ⓗ-1kg 粒 「継」

Ⅶ-2 SB-559Ⓛ-1kg 粒 「継」

Ⅶ-2
SW-002 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○始		○2		○前	○発生期	○再生前～始	○前	エゾノサヤヌカグサ:2L ミズアオイ:1L	+3～ノビエ2.5L	500ml/10a	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○2	●前※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:発生始～3cm コウキヤガラ:始			○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

水口処理可能
※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深:2cm/日以下
使用上の注意: クログワイ・オモダカ・シズイ・コウキヤガラ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅶ-2
SW-002Ⓛ フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														500ml/10a		
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2							+3～ノビエ2.5L		●	○
関東・東海（普）	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●
近・中・四（普）	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前				●	●

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

Ⅶ-2
SW-012Ⓗ-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●始		●2			●発生期	●再生前～始	●前		+3～ノビエ2.5L	1kg/10a		●
東北	●2.5	●	●2	●始	●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前					●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅶ-2
SW-012Ⓛ-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●2	●始				●再生前～始	●前		+3～ノビエ2.5L			●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期							●
近・中・四 (普)	●2.5	●	●2		●2	●2				●再生前～始	●前					●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅶ-2 SW-023Ⓗ-1kg 粒 「継」

Ⅶ-2 SW-023Ⓛ-1kg 粒 「継」

Ⅶ-2 SYJ-106 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ 「継」

Ⅶ-2
TH-001 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	●前	エゾノサヤヌカグサ:2L	+5～ノビエ2.5L	500ml/10a	●	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2				●再生前～始					●	○
関東・東海 (普)	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
近・中・四 (普)	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
九州	○2.5	○	○2	○始	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○

水口処理可能(東北)
減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

Ⅶ-2
TH-913ADE-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2		○前	○発生期	○再生前～始	○前	エゾノサヤヌカグサ:2L	+5～ノビエ3L	1kg/10a	○	○
東北	○3	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸	○3	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○3	○	○2		○2	○2	○前※	○前※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○3	○	○2		○2	○2	○前※		○発生期	○再生前～始	○前				○	○

※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ・オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅶ-2
TH-913NCS フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ3L	500ml/10a	●	○
東北	○3	○	○2	○始	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
北陸	○3	○	○2		○2	○2				●再生前～始					●	○
関東・東海 (普)	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
近・中・四 (普)	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
九州	○3	○	○2	○前	○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

Ⅶ-2
YH-546(旧 NSK-546) フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●始		●2							+3～ノビエ2.5L	500ml/10a		●
東北	●2	●	●2	●始	●2	●始							+3～ノビエ2L			●
北陸	●2	●	●2		●始	●始										●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●始							+3～ノビエ2.5L		●	●
近・中・四 (普)	●2.5	●	●2		●2	●始										●
九州	●2.5	●	●2	●前	●2											●

Ⅶ-1として(東北,北陸)
減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

Ⅶ-2
YH-641-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●始		●2			●発生期	●再生前～始	●前		+5～ノビエ2.5L	1kg/10a		●
東北	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前					●
北陸	●2.5	●	●2		●2	●始				●再生前～始						●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●
近・中・四 (普)	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前					●
九州																

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅶ-2 YH-652 フロアブル 「継」

Ⅶ-2 YH-652-1kg 粒 「継」

Ⅶ-2
MY-100N 顆粒水和

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2			○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	40g/10a(散布液量250～500ml/10a)~~(北陸は散布液量500ml/10a)~~		○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2				○再生前～始						○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布可能(北海道, 関東・東海～近畿・中国・四国)
減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

Ⅶ-2
KUH-985 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ3L	500ml/10a	○	○
東北	○3	○	○2		○2	○2	●前※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:発生始～3cm			○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深:2cm/日以下
使用上の注意: クログワイ・オモダカ・シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅶ-3 長期持続型一発処理剤

Ⅶ-3
AC-014A-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○2	○2		○2		○前※	○発生期		○前	ミズアオイ:1L	+0～ノビエ1.5L	1kg/10a	○	○
東北	○1.5	○	○2		○2	○2	●前※	●前※	○発生期		○前					○
北陸	○1.5	○	○2		○2	○2		●前※			○前					○
関東・東海	○1.5	○	○2		○2	○2	●前※	●前※	○発生期		○前				○	○
近・中・四	○1.5	○	○2		○2	○2	●前	○前※	○発生期		○前					○
九州	●1.5	●	●2		●2	●2			●発生期		●前					●

田植同時散布可能(北海道～近畿・中国・四国)
※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: クログワイ・オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

Ⅸ 一年生持続型

Ⅸ SB-526 フロアブル 「継」

Ⅸ SB-526-1kg 粒 「継」

Ⅸ YH-651 フロアブル 「継」

Ⅹ 少量拡散型粒剤

Ⅹ(移植後土壌処理)
KUH-992-0.25kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始	○前								ミズアオイ:1L	+1～+5(ノビエ1L)	250g/10a	○	○
東北	○1	○	○始	○始	○前										○	○
北陸	○1	○	○始		○始										○	○
関東・東海	○1	○	○始		○始										●	○
近・中・四	○1	○	○始		○始										○	○
九州	○1	○	○始		○始										○	○

湛水周縁部散布可能
一発処理型除草剤の前処理として使用する。

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。

Ⅹ(一発処理剤) BAG-022-0.3kg 粒 「継」

X(一発処理剤)
KUH-003D-0.25kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														250g/10a		
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			●発生期	○再生前～始			+1～ノビエ2.5L		●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
近・中・四 (普)	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+1～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)		●	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+1～ノビエ2.5L		○	○

湛水周縁部散布可能
減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。

X(一発処理剤)
KUH-003K-0.25kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○始		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+3～ノビエ2.5L	250g/10a	●	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

湛水周縁部散布可能
減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。

X(一発処理剤)
KUH-013D-0.25kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														250g/10a		
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前		+3～ノビエ2.5L		●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始					●	●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前				●	●

湛水周縁部散布可能(北陸～関東・東海,九州)
減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。

X(一発処理剤)
KUH-013K-0.25kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●始		●2			●発生期	●再生前～始	●前		+3～ノビエ2.5L	250g/10a		●
東北	●2.5	●	●2	●始	●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前				●	●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

湛水周縁部散布可能
減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。

X(一発処理剤) KUH-023D-0.25kg 粒 「継」

X(一発処理剤) KUH-023K-0.25kg 粒 「継」

X(一発処理剤)
KUH-986D-0.25kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														250g/10a		
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○始	○始				○再生前～始			+1～ノビエ2.5L		○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●始	●始	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○

湛水周縁部散布可能
※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
クログワイ・オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

X(一発処理剤)
NH-802-0.5kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														500g/10a		
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2				○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L		○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四 ~~(普)~~	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2L		○	○

湛水周縁部散布可能
減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。

X(一発処理剤)
KUH-986K-0.25kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○前		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2L	250g/10a		○
東北	○2.5	○	○2	○2	○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L		○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

湛水周縁部散布可能
減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。

X(一年生持続型)
MK-243S-0.5kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始									+3～ノビエ1.5L	500g/10a	●	○
東北	○1.5	○	○始	○始											●	○
北陸	○1.5	○	○始		○始										●	○
関東・東海	○1.5	○	○始												●	○
近・中・四 ~~(普)~~	○1.5	○	○始		○始										●	○
九州	○1.5	○	○始	○前											○	○

湛水周縁部散布可能
減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
~~田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。~~
湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。

XI 生物除草剤

XI
MTB-951

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	適用土壌
北海道	○2												ノビエ1L～2L	600g/10a(散布液量5L/10a)	全土壌
東北	○2														
北陸	○2														
関東・東海 (普)	○1.5												+4(ノビエ始)～ノビエ1.5L		
近・中・四 (普)	○1.5														
九州	●1.5														

ノビエが完全に水没する条件で処理し、7日間程度は水深を維持する。
本剤は微生物を利用したノビエ専用除草剤であり効果が変動しやすい。
減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

ジャンボ剤
Ⅱ-2 移植前後土壌処理

Ⅱ-2
CG-113(改) ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始	○前									+1～+5(ノビエ1L)	30g×10コ/10a	●	○
東北	○1	○	○始	○始	○始								植代後～-4,+1～+5(ノビエ1L)			○
北陸	○1	○	○始		○始										●	○
関東・東海 ~~(普)~~	○1	○	○始		○始											○
近・中・四 ~~(普)~~	○1	○	○始		○始										●	○
九州 ~~(普)~~	○1	○	○始		○始								+1～+5(ノビエ1L)		○	○

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: ~~田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。~~
5cm程度の水深で散布する。

Ⅱ-2
KPP-2005 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始	○始									+0～+5(ノビエ1L)	50g×10コ/10a	○	○
東北	○1	○	○始	○始	○前		●前※						植代後～-4,+1～+5(ノビエ1L)		○	○
北陸	○1	○	○前		○前								植代後～-4,+0～+5(ノビエ1L)		○	○
関東・東海	○1	○	○始		○始		●前※								●	○
近・中・四	○1	○	○始		○前		●前※								○	○
九州	○1	○	○始		○前		●前※						植代後～-4,+1～+5(ノビエ1L)		○	○

体系処理の前処理として50g×10コ/10a処理が可能
※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
~~移植前の散布は田面水が溜んでから行う。~~
クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-2
MAT-159 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始	○始									+1～+5(ノビエ1L)	50g×10コ/10a	●	○
東北	○1	○	○始	○始	○前								植代後～-4,+1～+5(ノビエ1L)			○
北陸	○1	○	○始		○前										●	○
関東・東海	○1	○	○始		○始											○
近・中・四 ~~(普)~~	○1	○	○始		○始										●	○
九州 ~~(普)~~	○1	○	○始		○始										○	○

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: ~~田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。~~
5cm程度の水深で散布する。
~~移植前の散布は田面水が溜んでから行う。~~

Ⅱ-2
ﾌﾞﾀｸﾛｰﾙ ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始	○前									+1～+5(ノビエ1L)	50g×10ｺ/10a	○	○
東北	○1	○	○始		○始								植代後～-4,+1～+5(ノビエ1L)		●	○
北陸	○1	○	○始		○前										○	○
関東・東海	○1	○	○始		○前											○
近・中・四	○1	○	○始		○始										●	○
九州	○1	○	○始		○始										○	○

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: ~~田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。~~
5cm程度の水深で散布する。
~~移植前の散布は田面水が澄んでから行う。~~

Ⅱ-5 適用時期拡大

Ⅱ-5
MK-243SM ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														50g×10ｺ/10a		
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●2					●前		+20～+30(イネ5L以降,ノビエ2.5Lまで)			●
北陸																
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2					●前		+20～+30(イネ5L以降,ノビエ2.5Lまで)			●
近・中・四																
九州																

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
著しい高温条件では薬害を生じることがある。
散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。
前処理剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-5 ﾓﾘﾈｰﾄSM ｼﾞｬﾝﾎﾞ 「継」

Ⅶ 一発処理剤

Ⅶ
AC-014C① ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	●始		●始			●発生期	●再生前～始	●前		+3～ノビエ2L	50g×10ｺ/10a		○
東北	○2	○	○始	○始	○始	○始			○発生期						○	○
北陸	○2	○	○始		○始	○始									○	○
関東・東海	○2	○	○始		○始	○始			○発生期						○	○
近・中・四	○2	○	○2		○2	○始			●発生期		○前				●	○
九州	○2	○	○2		○2	○2			○発生期		●前				○	○

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

Ⅶ
AC-014R ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○2	○始		○2		●前※	○発生期	○再生前～始	○前		+3～ノビエ2L	20g×10ｺ/10a	●	○
東北	○2	○	○2		○2	○始	●前※	●前※	○発生期		○前				●	○
北陸	○2	○	○2		○2	○始		●前※	●発生期						●	○
関東・東海 (~~普~~)	○2	○	○2		○2	○始	●前※	●前※	○発生期		○前				●	○
近・中・四 (~~普~~)	○2	○	○2		○2	○2	●前※	●前※	●発生期		●前				●	○
九州 (~~普~~)	○2	○	○2	○前	○2	○始	●前※	●前※	●発生期		●前				○	○

※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
クログワイ・オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅶ AVH-003 ｼﾞｬﾝﾎﾞ 「継」

Ⅶ BAG-021 ｼﾞｬﾝﾎﾞ 「継」

Ⅶ HOK-221 ｼﾞｬﾝﾎﾞ 「継」

Ⅶ
HSA-971 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○2			○2		○前※	○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2L	50g×10ｺ/10a		○
東北	○2	○	○2	○始	○始	○始		○前※	○発生期	○再生前～始					●	○
北陸	○2	○	○2	○始	○始	○2		○前※	●発生期	○再生前～始					●	○
関東・東海	○2	○	○2		○始	○2		○前※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2	○	○2		○2	○2		○前※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2	○	○2		○2	○2		○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○

※:オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

Ⅶ
KUH-003D ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														25g×10ｺ/10a		
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●2	●2				●再生前～始			+3～ノビエ2.5L		●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始					●	●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前				●	●
九州	●2.5	●	●2	●前	●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前				●	●

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

Ⅶ
KUH-003K ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●始		●2			●発生期	●再生前～始	●前		+3～ノビエ2.5L	25g×10コ/10a	●	●
東北	●2.5	●	●2	●始	●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前				●	●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

Ⅶ KUH-013D ｼﾞｬﾝﾎﾞ 「継」

Ⅶ KUH-013K ｼﾞｬﾝﾎﾞ 「継」

Ⅶ
KUH-975PK ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○2	○始		○始			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2L	25g×10コ/10a		○
東北	○2.5	○	○2	○始	○始	○始	●前※	●前※	○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L		○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
クログワイ・オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅶ
MY-100DCⓗ ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○始		○始			○発生期	○再生前～始	○前		+3～ノビエ2L	50g×10コ/10a	●	○
東北	○2	○	○2	○始	○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

Ⅶ
MY-100MS ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始							+1～ノビエ1.5L	50g×10コ/10a	●	○
東北	○1.5	○	○始		○前	○始									○	○
北陸	○1.5	○	○始		○始	○始									●	○
関東・東海	○1.5	○	○始		○始	○始									○	○
近・中・四	○1.5	○	○始		○始	○始									●	○
九州	○1.5	○	○始		○始	○始									○	○

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

Ⅶ
MY-100NC ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○始		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2L	30g×10コ/10a		○
東北	○2	○	○2	○始	○2	○2			○発生期	○再生前～始					●	○
北陸	○2	○	○2		○始	○2				○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
近・中・四	○2	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	●前				●	○
九州	○2	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

Ⅶ
NBA-093(改) ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●始		●2			●発生期	●再生前～始	●前		+5～ノビエ2.5L	40g×10コ/10a		●
東北	●2.5	●	●2	●始	●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●
北陸	●2.5	●	●2		●2	●2				●再生前～始						●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四 (普)	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州 (普)	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

Ⅶ
NBA-101 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○2	○前		○始			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2L	40g×10コ/10a	○	○
東北	○2.5	○	○2	●2	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L		○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2				○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

Ⅶ
NC-391Ⓛ ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○始		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2L	30g×10コ/10a	○	○
東北	○2	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○再生前～始	●前				○	○
北陸	○2	○	○2		○2	○2				○再生前～始	●前				●	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	●前				●	○
九州	○2	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○*	○

*:早期は砂壌土を除く(九州)
減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

Ⅶ
NCH-903DEH ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○始		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2L	40g×10コ/10a		○
東北	○3	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○再生前～始	●前		+5～ノビエ3L			○
北陸	○3	○	○2		○2	○2				○再生前～始						○
関東・東海 ~~(普)~~	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前					○
近・中・四	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	●前					○
九州 ~~(普)~~	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	●前				○	○

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

Ⅶ NCM-451 ｼﾞｬﾝﾎﾞ 「継」

Ⅶ
NH-101 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●始		●2			●発生期	●再生前～始	●前		+5～ノビエ2.5L	50g×10コ/10a		●
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

Ⅶ
NH-806 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														50g×10コ/10a		
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2				○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L		●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2		●始※	○発生期	○再生前～始	○前	ｲﾎﾞｸｻ:再生始			●	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
九州	○2.5*	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L(*:早期は～ノビエ2L)		○	○

※:オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅶ
ONC-381 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○2	○始		○始			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2L	30g×10コ/10a	●	○
東北	○2	○	○2	○始	○2	○始			○発生期	○再生前～始		ﾀｳｺｷﾞ:子葉期			●	○
北陸	○2	○	○2		○始	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	●前		+5～ノビエ2.5L		○	○
九州	○2	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2L		○	○

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

Ⅶ
SB-554 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●1.5	●	●始	●始					●発生期				+0～ノビエ1.5L	50g×10コ/10a		●
東北	●1.5	●	●始		●始		●前		●発生期							●
北陸	●1.5	●	●始		●始				●発生期							●
関東・東海	●1.5	●	●始		●始		●前		●発生期							●
近・中・四	○1	○	○始		○前	○前			○発生期				+0～+5(ノビエ1L)		○	○
九州	○1.5	○	○始	●前	○前	○前			○発生期				+0～ノビエ1.5L		○	○

クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。(東北、関東・東海)

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅶ
SL-954 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2	●	●2	●始		●2			●発生期				+3～ノビエ2L	50g×10コ/10a		●
東北	●2	●	●2	●始	●始	●始			●発生期	●再生前～始	●前					●
北陸	●2	●	●始		●始	●始										●
関東・東海	●2	●	●2		●2	●始			●発生期							●
近・中・四 (普)	●2	●	●2		●2	●2			●発生期						●	●
九州	●2	●	●2		●2	●2			●発生期		●前				●	●

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

Ⅶ
SW-024Ⓗ ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														40g×10コ/10a		
東北	●2.5	●	●2	●始	●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前		+3～ノビエ2.5L			●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅶ
SW-024① ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														40g×10コ/10a		
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●2	●始							+3～ノビエ2.5L			●
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

Ⅶ
SW-952① ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														30g×10コ/10a		
東北																
北陸	○2	○	○2	○2	○始	○2		○始※	○発生期	○再生前～始			+3～ノビエ2L		○	○
関東・東海	○2	○	○2		○始	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2	○	○2		○2	○2	○始※	○前※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2	○	○2		○2	○2	○始※	○前※	○発生期	○再生前～始		ｺｳｷｬｶﾞﾗ:始			○	○

※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ・オモダカ・コウキャガラ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

Ⅶ SYJ-107 ｼﾞｬﾝﾎﾞ 「継」

Ⅶ SYJ-108 ｼﾞｬﾝﾎﾞ 「継」

Ⅶ
TH-005 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2	●	●2	●始		●2			●発生期	●再生前～始	●前		+3～ノビエ2L	50g×10コ/10a		●
東北	●2	●	●2	●始	●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前					●
北陸	●2	●	●2		●始	●始				●再生前～始						●
関東・東海	●2	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前					●
近・中・四 (普)	●2	●	●2		●2	●始				●再生前～始						●
九州 (普)	●2	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

Ⅶ
TH-913CS ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○始		○始			○発生期	○再生前～始	○前		+3～ノビエ2L	50g×10コ/10a	○	○
東北	○2	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前					○
北陸	○2	○	○2	○始	○始	○2				○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前					○
近・中・四	○2	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:　田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

Ⅶ
THI-913CS ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														50g×10コ/10a		
東北																
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州　(普)	○2	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+3～ノビエ2L		○	○

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

Ⅶ
SW-025㊐(旧 HSW-984) ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○2	○始		○始			○発生期	○再生前～始	○前		+3～ノビエ2L	50g×10コ/10a		○
東北	●2	●	●2	●始	●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前					●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深:2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

Ⅶ
KUH-975PD ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														25g×10ｺ/10a		
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○始	○2				○再生前～始	○前		+1～ノビエ2.5L		○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●始	●始	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○

※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
オモダカ防除は、オモダカに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
クログワイ・オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅸ 一年生持続型除草剤

Ⅸ
HOK-991 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●1.5	●	●始	●始									+3～ノビエ1.5L	50g×10ｺ/10a		●
東北	●1.5	●	●始	●始	●始											●
北陸	●1.5	●	●始		●始											●
関東・東海	●1.5	●	●始		●前	●始									●	●
近・中・四	●1.5	●	●始		●始	●始									●	●
九州	●1.5	●	●始		●始	●始									●	●

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

Ⅸ
SB-533P5(改) ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●1.5	●	●始	●始					●発生期				+1～ノビエ1.5L	50g×5ｺ/10a		●
東北	●1.5	●	●始		●始				●発生期				+0～ノビエ1.5L			●
北陸	●1.5	●	●始		●始				●発生期							●
関東・東海	●1.5	●	●始		●始										●	●
近・中・四	●1.5	●	●始		●始											●
九州 (普)	●1.5	●	●始		●始				●発生期				+1～ノビエ1.5L			●

減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下する場合がある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

Ⅸ SL-0201 ｼﾞｬﾝﾎﾞ 「継」

使用基準の更新

以下の2薬剤について、過去の使用基準を元に現行の様式による使用基準を策定した。

Ⅱ-1
SB-528 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														500ml/10a		
東北	○	○	○		○								植代時(～-4)		○	○
北陸	○	○	○		○											○
関東・東海	○	○	○		○											○
近・中・四（普）	○	○	○		○										○	○
九州	○	○	○		○										○	○

混和時の水深3～5cm
減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅱ-2-(2)
KPP-314-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○始	○											植代後～-4,+0～+5(ノビエ始)	1kg/10a	○	○
東北	○始	○													○	○
北陸	○始	○													○	○
関東・東海	○始	○													○	○
近・中・四	○始	○											植代後～-4,+0～+3(ノビエ始)		○	○
九州	○始	○													○	○

田植同時散布可能(東北～九州)
減水深:2cm/日以下
使用上の注意: 深水条件では薬害を生じることがある。

以下の4薬剤について、過去の使用基準に特殊雑草対象の本年度判定結果を加え、使用基準を策定した。

Ⅱ-2-(1)
SL-970 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始	○始									植代後～-4,+0～+5(ノビエ1L)	500ml/10a	○	○
東北	○1	○	○始	○始	○始										○	○
北陸	○1	○	○始		○始										○	○
関東・東海	○1	○	○始									イボクサ:再生始			○	○
近・中・四	○1	○	○始												○	○
九州	○1	○	○始												○	○

初期剤として500ml/10a散布が可能。
水口処理可能　　田植同時散布可能(東北～近畿・中国・四国)
減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅱ-3-(1)
KUH-958 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始										植代後～-4,+0～+5(ノビエ1L)	500ml/10a	○	○
東北	○1	○	○始	○始	○前		○前※						植代後～-4,+0～+7(ノビエ1L)		○	○
北陸	○1	○	○始		○始								植代後～-4,+0～+8(ノビエ1L)(*:砂壌土は移植前処理を除く)		○*	○
関東・東海	○1	○	○始		○始		○前※						+0～+5(ノビエ1L)		○	○
近・中・四	○1	○	○始		○始		●前※						植代後～-4,+0～+3(ノビエ1L)(早期は移植前処理を除く)		○	○
九州	○1	○	○始		○始		●前※								○	○

水口処理可能　　田植同時散布可能(関東・東海)
※:クログワイ防除は、クログワイに有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深:2cm/日以下
使用上の注意:　深水条件では薬害を生じることがある。
　　クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

Ⅱ-3-(2)
KUH-958 フロアブル(少量散布)

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始									ミズアオイ:1L	+0～+5(ノビエ1L)	300ml/10a		○
東北	○1	○	○始		○前										○	○
北陸	○1	○	○始		○始											○
関東・東海	○1	○	○始		○始										○	○
近・中・四	○1	○	○始		○始										○	○
九州	○1	○	○始		○始										○	○

一発処理型除草剤の前処理として少量散布(300ml/10a)が可能。
減水深:2cm/日以下
使用上の注意:

Ⅶ-1
SL-498-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北	○2	○	○始	○始	○始	○始			○発生期		○前		+0～ノビエ2L		○	○
北陸	○2	○	○2		○2	○2					○前				○*	○
関東・東海	○2	○	○2			○2					○前	イボクサ:再生始			○	○
近・中・四	○2	○	○2		○2	○2			○発生期		○前				○	○
九州	○2	○	○2		○2	○2					○前				○	○

*:砂壌土は減水深1cmまで(北陸)
減水深:2cm/日以下
使用上の注意:　田植え前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

水稲関係除草剤使用基準の表示について

1. 過年度、既に実用化の認められている適用草種・土壌条件に○を印した。
(本年度の試験の結果、特に拡大のない場合も含む)
草種欄の数字、字句で草種ごとの葉齢を示した。
[例:○始(発生始)、○2(2葉期まで)]
作期に限定がある場合は、地域名の後に適用作期を普通期:(普), 早期:(早)と記した。
使用上の注意は別途一覧表に添って文章で備考欄に記載した。
2. 本年度、新たに使用基準が作成された場合は、実用化可能となった適用草種・土壌に●を印し、処理時期および使用量を記載した。
Ⅳ,Ⅴ,Ⅵの試験区分において、地域判定の○は、前年度までに実用化の認められている地域を示し、●は本年度新たに実用化の認められた地域を示した。
3. 過年度の基準に適用条件拡大が可能となった場合、
作期の拡大:作期の限定がなくなった場合、作期の記載を取消線で消した。(例: ~~(普)~~)
草種の拡大:拡大可能となった草種に●を印した。
葉齢の拡大:拡大可能となった葉齢に、アンダーラインを付した。
(例: ○2.5)
処理時期,使用量の拡大:拡大部分にアンダーラインを付した。
(例: +3～ノビエ2L, 50～75ml/a)
土壌条件の拡大:拡大可能となった土壌に●を印した。
4. 「継」、「継?」、「中止」の場合は判定と判定理由を記載した。

前年までの試験経過欄( )内の記号

A : 新規年度
Aa : 新規年度(但し成分から作用性が予測される剤)
B : 他の栽培法、やや異なる処理法
C : 継続検討

・既登録薬剤については薬剤名覧[ ]内に商品名を記載した。
・必要に応じて参考となる使用基準を載せた。

平成１４年度　畑作関係除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会　技術部

平成１４年度畑作関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成１４年１２月９日（月）～１０日（火）、池之端文化センターにおいて開催された。

本年度供試された畑作関係除草剤は作用性試験５剤、適用性試験１８剤で、生育調節剤は作用性試験３剤、適用性試験３剤であった。

このうち適用性試験については、慎重に試験成績を検討し、実用化についての判定を行った。

その結果は、次表のとおりである。

平成１４年度　畑作関係除草剤・生育調節剤中央判定および使用基準

A．除草剤

薬剤名	作物名	判定	使用基準						継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量/10a	適用土壌	使用上の注意	
1.AVH-001 乳剤 ｴﾄﾌﾒｾｰﾄ 10% ﾌｪﾝﾒﾃﾞｨﾌｧﾑ 8.2% ﾃﾞｽﾒﾃﾞｨﾌｧﾑ 6.4%	てんさい（移植）	実	一年生雑草全般	茎葉	活着後雑草発生揃期	350～450 mL〈水量60～80L〉	全土壌	1)ﾀﾃﾞ，ﾋｴには、低薬量で効果の劣る場合がある。	
	てんさい（直播）	継							・効果、薬害の再確認
2.DPX-16 顆粒水和剤 ﾁﾌｪﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ 75%	こんにゃく	継							・効果、薬害の再確認
5.KUH-901 乳剤 ﾍﾞﾝﾁｵｶｰﾌﾞ 50% ﾘﾆｭﾛﾝ 7.5% ﾍﾟﾝﾃﾞｨﾒﾀﾘﾝ 5%	落花生	実	一年生雑草全般	土壌	播種後雑草発生前	500～700 mL〈水量100L〉	全土壌（砂土を除く）		
6.KUH-901 細粒剤 ﾍﾞﾝﾁｵｶｰﾌﾞ 8% ﾘﾆｭﾛﾝ 1.2% ﾍﾟﾝﾃﾞｨﾒﾀﾘﾝ 0.8%	大豆	実（従来通り）	一年生雑草全般	土壌	播種後雑草発生前	4～5kg	全土壌（砂土を除く）	1)北海道を除く 2)砕土、覆土、整地はていねいに行い、均一に散布する。	
7.MON-96A 液剤 ｸﾞﾘﾎｻｰﾄｱﾝﾓﾆｳﾑ塩 41%	大豆	実・継	一年生雑草全般	茎葉	耕起10日以前　雑草生育期（草丈30cm以下）	250～500 mL〈水量25～100L〉	全土壌	1)北海道を除く 2)少水量散布(25～50L)の場合は専用ﾉｽﾞﾙを使用する。	
					播種後出芽前　雑草生育期（草丈30cm以下）	250～500 mL〈水量50L〉		1)北海道を除く 2)大豆の発芽開始後は、薬剤が直接触れると薬害が発生することがあるので注意する。 3)専用ﾉｽﾞﾙを使用する。	・散布水量の検討 ・処理時期の拡大

注）＿＿＿は拡大された部分、‥‥‥は拡大部分が含まれることを示す
薬剤名の＿＿＿は新たに使用基準が作成された薬剤である

A．除草剤 つづき

薬剤名	作物名	判定	使用基準						継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量/10a	適用土壌	使用上の注意	
7.MON-96A 液剤 つづき	大豆(ｸﾞﾘﾎｻｰﾄ耐性)	実・継	一年生雑草全般	茎葉	大豆2～5葉期（雑草生育期）	250mL〈水量25～100L〉	全土壌	1)北海道を除く 2)雑草量が多いときや、雑草の生育が早いときは、早めに処理をする。 3)少水量散布(25～50L)の場合は専用ﾉｽﾞﾙを使用する。	・散布水量と効果の確認
	飼料用とうもろこし	継							・効果、薬害の再確認
8.NBA-961 顆粒水和剤 ﾒﾀﾐﾄﾛﾝ 70%	てんさい(移植)	実（従来通り）	一年生広葉雑草	茎葉	活着後 雑草発生始～揃期	400～600g〈水量50～100L〉	全土壌（砂土を除く）	1)非イオン系展着剤を加用する。	
9.NH-9301 フロアブル剤 ﾋﾟﾗﾌﾙﾌｪﾝｴﾁﾙ 2%	こんにゃく	実	一年生広葉雑草	茎葉	萌芽前 広葉雑草2～4葉期	50～100mL〈水量100L〉	全土壌	1)広葉雑草優占圃場で使用する。 2)体系処理；イネ科雑草対象除草剤を使用する。	
10.NM-536 粒剤 ｼﾞﾒﾃﾅﾐﾄﾞ 1.6% ﾘﾆｭﾛﾝ 1.4%	大豆	継							・効果、薬害の再確認
11.NP-61 乳剤 ﾃﾌﾞﾗﾛｷｼﾞﾑ 10%	てんさい	実	一年生イネ科雑草及び多年生イネ科雑草	茎葉	イネ科雑草3～5葉期	75～100mL〈水量100L〉	全土壌	1)イネ科雑草優占圃場で使用する。 2)体系処理；広葉雑草対象除草剤を使用する。	
12.S-482 顆粒水和剤 ﾌﾙﾐｵｷｻｼﾞﾝ 50%	大豆	継							・効果、薬害の再確認
13.S-604 乳剤 ｸﾚﾄｼﾞﾑ 23%	大豆	実・継（従来通り）	一年生イネ科雑草	茎葉	イネ科雑草3～5葉期	35～50mL〈水量100L〉	全土壌	1)イネ科雑草優占圃場で使用する。 2)体系処理；広葉雑草対象除草剤を使用する。	・ｽｽﾞﾒﾉｶﾀﾋﾞﾗに対する薬量と効果の確認

A．除草剤 つづき

薬剤名	作物名	判定	使用基準						継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量/10a	適用土壌	使用上の注意	
13.S-604 乳剤 つづき	小豆	実・継（従来通り）	一年生イネ科雑草	茎葉	イネ科雑草3～5葉期	35～50mL〈水量100L〉	全土壌	1)北海道のみ 2)イネ科雑草優占圃場で使用する。 3)体系処理；広葉雑草対象除草剤を使用する。	・ｽｽﾞﾒﾉｶﾀﾋﾞﾗに対する薬量と効果の確認
	菜豆	実・継（従来通り）	一年生イネ科雑草	茎葉	イネ科雑草3～5葉期	35～50mL〈水量100L〉	全土壌	1)北海道のみ 2)イネ科雑草優占圃場で使用する。 3)体系処理；広葉雑草対象除草剤を使用する。	・ｽｽﾞﾒﾉｶﾀﾋﾞﾗに対する薬量と効果の確認
14.SYJ-103 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ剤 ﾒｿﾄﾘｵﾝ 100g/L	とうもろこし 飼料用とうもろこし	継							・処理時期と適用草種の検討
15.YF-65L 液剤 ｼﾞｸﾜｯﾄｼﾞﾌﾞﾛﾐﾄﾞ 7% ﾊﾟﾗｺｰﾄｼﾞｸﾛﾘﾄﾞ 5%	大豆	実	一年生雑草全般	茎葉	播種後出芽前 雑草生育期（草丈20cm以下）	600～1000mL〈水量100L〉	全土壌	1)北海道を除く 2)大豆の発芽開始後は、薬剤が直接触れると薬害が発生することがあるので注意する。 3)イネ科雑草多発圃場では効果が劣る場合がある。	
16.ZK-122 液剤 ｸﾞﾘﾎｻｰﾄｶﾘｳﾑ塩 43%	大豆	実・継	一年生雑草全般	茎葉	播種後出芽前 雑草生育期（草丈30cm以下）	250～500mL〈水量50～100L〉	全土壌	1)北海道を除く 2)大豆の発芽開始後は、薬剤が直接触れると薬害が発生することがあるので注意する。 3)少水量散布(50L)の場合は専用ﾉｽﾞﾙを使用する。	・低薬量、低水量での効果の確認
17.ﾚﾅｼﾙ・PAC 水和剤 ﾚﾅｼﾙ 40% PAC 30%	てんさい（移植）	実・継（従来通り）	一年生雑草全般	茎葉兼土壌	定植活着後、中耕後（雑草発生始期）	200～300g〈水量100L〉	全土壌		・散布水量50L/10aでの効果の確認

A．除草剤 つづき

薬剤名	作物名	判定	使用基準						継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量/10a	適用土壌	使用上の注意	
18.ﾌｪﾝﾒﾃﾞｨﾌｧﾑ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ剤＋NBA-961顆粒水和剤 ﾌｪﾝﾒﾃﾞｨﾌｧﾑ 14.5% ﾒﾀﾐﾄﾛﾝ 70%	てんさい（移植）	継							・効果、薬害の再確認
19.MW-851 液剤 ﾋﾞｱﾗﾎｽ 18%	大豆	実・継（従来通り）	一年生雑草全般	茎葉	耕起10日以前 雑草生育期	300～500 mL〈水量100～150L〉	全土壌	1)北海道を除く 2)周辺作物に飛散しないように散布する。	・畦間処理の検討
20.2,4PA 液剤 2,4PA 49.5%	さとうきび（夏植）	実・継	一年生及び多年生広葉雑草	茎葉	雑草生育初期	350～500 mL〈水量100L〉	全土壌		・処理時期と効果の確認

B．生育調節剤

薬剤名	作物名	試験目的	判定	実用化に対する処理方法	継続の内容
1.F-8426 乳剤 ｶﾙﾌｪﾝﾄﾗｿﾞﾝｴﾁﾙ 21.5%	ばれいしょ	［作用性］ 茎葉枯凋促進効果および品質への影響	－		・適用性試験にて検討
2.NH-611 乳剤 ﾋﾟﾗﾌﾙﾌｪﾝｴﾁﾙ 0.4%	ばれいしょ	［作用性・適用性］ 茎葉枯凋促進効果および品質への影響（茎葉繁茂期２回処理）	実･継（従来通り）	［茎葉枯凋促進効果］ ・茎葉黄変期 250～450mL/10a 〈水量100L/10a〉 茎葉処理 北海道	・茎葉繁茂期２回処理の効果、薬害の再確認
3.S-482 顆粒水和剤 ﾌﾙﾐｵｷｻｼﾞﾝ 50%	ばれいしょ	［適用性］ 茎葉枯凋促進効果および品質への影響	継		・効果、薬害の再確認
4.SDK-001 液剤 ｷﾄｻﾝ 7%	ばれいしょ	［作用性］ 増収および品質向上	－		・作用性試験にて再検討
5.TNZ-303 液剤 TS-303(ﾌﾞﾗｼﾉｽﾃﾛｲﾄﾞ) 30ppm PDJ(ﾌﾟﾛﾋﾄﾞﾛｼﾞｬｽﾓﾝ) 30ppm	ばれいしょ（秋作）	［適用性（13年度分）］ 萌芽促進、生育促進による増収	継		・効果の再確認

水田一発処理除草剤

ダブルスター®

1キロ粒剤
ジャンボ®
顆　粒

ピラゾスルフロンエチル・フェントラザミド 含有

3つの剤型で水田除草革命宣言

あなたは、どのダブルスター?

顆粒　1キロ粒剤　ジャンボ®

特　長

1.高い除草効果
ノビエなどの一年生雑草から、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカ、ヒルムシロ、セリなどの多年生雑草に高い効果を示します。

2.問題の一年生雑草にも有効
最近問題となっている、アメリカアゼナやアゼトウガラシ等の一年生広葉雑草やタウコギ等のキク科雑草に対しても、発生前～発生初期の処理で高い効果を示します。

3.ゆとりのある使用時期
移植後5日から、ノビエ2.5葉期(ジャンボは2葉期)まで、長い期間にわたって使用できます。田植後、ゆとりをもって散布ができます。

4.長い残効性
各種雑草に対して通常40～50日間の残効が期待できます。特にノビエに対する残効性に優れた剤ですので、ノビエの後発生が問題となる寒冷地においても十分な効果を保ちます。

5.水稲に対する優れた選択性
水稲に対して選択性が高いので、通常の水田条件下では安心して使用できます。

ダブルスター協議会　バイエル クロップサイエンス(株)/日産化学工業(株)
〈事務局〉日産化学工業株式会社　〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-7-1 (興和一橋ビル)

MY-100（オキサジクロメホン）含有
JAグループ推奨ヒエ剤。初年度10万ヘクタール達成

水稲用初・中期一発処理除草剤

長く、よく効くホームランシリーズ!!

❶ノビエ2.5葉期まで効果がある。
❷ノビエに対する効果がなが～く持続する。
❸稲への安全性が高い。

ミスターホームラン®
フロアブル/Lフロアブル

ホームラン®
A1キロ粒剤36/1キロ粒剤51

JAグループ
農協 | 全農 | 経済連
企画本部・販本部
全農は登録商標 第1902445号

北興化学工業株式会社
〒103-8341 東京都中央区日本橋本石町4-4-20
http://www.hokkochem.co.jp/

®は登録商標

「緑と稔りを約束する、石原の水田除草剤」

●時代に先駆け環境にやさしい紙パックで登場!
フロアブルタイプの初・中期一発剤
キングダム®フロアブル Lフロアブル

●低コスト稲作に300mlボトルの初期剤登場!
頑固なイヌホタルイで困っている水田に最適!
ワンベスト®フロアブル

●どっしり、安定…　しっかり、効くゾウ!!
抵抗性アゼナ類にも効果の初・中期一発剤
ウィードレス*1キロ粒剤 A36 51

●コンパクトになってビッグな手応え!
抵抗性アゼナ類に卓効の初期一発剤
ワンオール®S1キロ粒剤

ISK
製造 石原産業株式会社
販売 石原バイオサイエンス株式会社
〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番30号
問合せ先 03-3230-7656

石原友の会 会員募集中!
ホームページ アドレス
http://www.iskweb.co.jp/ibj/

植調協会だより

◎植調研究所報告

平成14年度水稲用除草剤沖縄基礎試験の実施状況

1. 目　的

本年試験が計画されている一部の水稲用新規除草剤について、適用性試験の実施に先立ち、除草効果および薬害、さらには製剤間の比較検討を行うことによって、薬剤の特性を把握し、第二次適用性試験が効率的に進められるための知見を得ることを目的とする。

2. 耕種概要

（1）試験場所：沖縄県名護市為又

（2）試験期間：平成15年2月～3月

（3）栽培法：稚苗移植栽培

（4）試験規模

① ジャンボ剤：1区14㎡（2×7m）2区制

② 粒剤、フロアブル剤等：1区0.8㎡（0.8×1m）2区制

（5）土壌条件

土性	腐植含量	pH(H_2O)	塩基置換容量	減水深
壌土	1.66%	6.5	6.8meq/100g	0.5cm以下/日

（6）　水稲関係

1）植　代：2月5日

2）移　植：2月7日

① ジャンボ剤：1株3～4本手植え

② 粒剤、フロアブル剤：1株3本、1区15株手植え

3）品　種：ひとめぼれ

移植苗：葉齢2.0L（草丈10.5cm、地上部乾物率20.3%）

（7）雑草播種：2月7日

試験圃場での自然発生はホタルイが主であるが、その他ノビエ、ホタルイ種子を土壌表面に播種し、タマガヤツリ、コナギ、一年生広葉雑草種子およびマツバイの混入土を播き込み、ミズガヤツリ、ウリカワの塊茎を区当たり各5個植え付けた。

（8）薬剤処理

粒剤、粒状剤：均一に手まき

フロアブル剤：ピペットを用いて全面に滴下

ジャンボ剤：試験区短辺部脇に小区画用の薬剤を投入

（9）水管理　移植後より3～4cm湛水で管理および薬剤処理（ジャンボ剤は5cm程度）を行った。

(10) 施　肥　N－P－K　3.0－3.0－3.0kg/10a

(11) 薬剤処理時の雑草および水稲の生育状態

処理時期	月日	ﾉﾋｴ	ﾀﾏｶﾞﾔﾂﾘ	ｺﾅｷﾞ	他広葉	ﾏﾂﾊﾞｲ	ﾎﾀﾙｲ	ﾐｽﾞｶﾞﾔﾂﾘ	ｳﾘｶﾜ	藻類*	水稲
+0	2/7	発生前	発生前	発生前	発生前	発生前	発生前	発生前	発生前	0％	2.0L
+3	10	発生始	〃	〃	〃	〃	〃	〃	発生始	〃	2.0L
+5	12	～0.3L	〃	〃	〃	発生始	発生始	発生始	線形葉	〃	2.2L
ﾉﾋｴ1.0L(+ 9)	16	～1.0L	〃	〃	発生始	〃	～0.5L	〃	～0.5L	〃	2.6L
ﾉﾋｴ1.5L(+12)	19	～1.5L	発生始	発生始	〃	〃	～1.0L	～1.0L	～1.3L	〃	3.3L
ﾉﾋｴ2.0L(+15)	22	～2.0L	〃	〃	〃	増殖期	～1.5L	～1.5L	～2.0L	5％	3.7L
ﾉﾋｴ2.5L(+19)	26	～2.5L	～1.0L	～1.0L	～1対	〃	～2.3L	～2.0L	～2.5L	10％	4.2L
ﾉﾋｴ3.0L(+22)	1	～3.0L	〃	～1.5L	〃	〃	～2.8L	～2.5L	～3.0L	15％	4.7L

*藻類は主にｱｵﾐﾄﾞﾛで表示は被度

3. 試験経過および気象概況

水稲移植後の気温は平年に比べやや高く推移し、日照も多い状態で経過した。試験期間中は平年に比べ降雨量は少なく、オーバーフロー等は無かった。

雑草の発生および生育については昨年より早く、順調な生育がみられた。

試験の観察は3月中旬頃が適期である。

財団法人　日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東1丁目26番6号
電話　東京(03)3832-4188（代）

平成15年3月発行　定価420円（送料270円）
植調第36巻第12号　（本体400円，消費税20円）

編集人　日本植物調節剤研究協会　会長　小林　仁
発行人　植調編集印刷事務所　広田伸七

発行所　東京都台東区台東1－26－6　全国農村教育協会
植調編集印刷事務所
電話　東京（03）3833－1821番（代）
印刷所　新成印刷㈲

難防除雑草
対策の新製品

サラブレッド® RXフロアブル

イッテツ® フロアブル

期待の新製品

使いやすさの大本命
サラブレッド®フロアブル

長い効果の
ジャンボ剤 リーディング® ジャンボ

ポ～ンと手軽に
クラッシュ® EX ジャンボ

安定した効果の
初中期一発剤 ドニチ®1キロ粒剤

大好評の既存剤

ザ・ワン®フロアブル・1キロ粒剤

キックバイ®1キロ粒剤

アワード®フロアブル

ロンゲット®フロアブル

シェリフ®1キロ粒剤

バトル®1キロ粒剤

クラッシュ®1キロ粒剤

住化武田農薬株式会社
〒103-0027 東京都中央区日本橋二丁目13番10号

DUPONT®

The miracles of science™

デュポン株式会社 農業製品事業部

東京本社 〒153-0064 東京都目黒区下目黒1-8-1アルコタワー TEL.03-5434-6117

大阪支社 〒550-0002 大阪市西区江戸堀2-1-1 江戸堀センタービル4階 TEL.06-6449-3961

名古屋支店 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-24-30 名古屋三井ビル本館13階 TEL.052-571-7730

札幌事務所 〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-10-2 札幌HSビル11階 TEL.011-251-3752

仙台事務所 〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-7-17 朝日生命仙台一番町ビル2階 TEL.022-267-5326

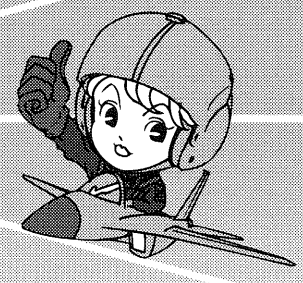
福岡事務所 〒810-0001 福岡市中央区天神1-12-20 日之出東京海上ビルディング6階 TEL.092-761-7871

水稲用
初・中期一発除草剤

■新発売■

トップガン®

1キロ粒剤・フロアブル



抵抗する雑草を一発撃退!

●一年生雑草から多年生雑草まで幅広い除草効果を発揮します。

●ノビエに対して3葉期まで防除できます。

●SU剤抵抗性ホタルイ及び一年生広葉雑草にも高い効果があります。

●水稲に対して安全性が高い薬剤です。

JAグループ
農協 | 全農® 全国本部・県本部 | 経済連

自然に学び　自然を守る
クミアイ化学工業株式会社
本社:東京都台東区池之端1-4-26 〒110-8782 TEL:03-3822-5131

●クミアイ化学はインターネットでも情報提供しております。http://www.kumiai-chem.co.jpを、ぜひご覧ください。

いのちの輝きを見つめる
Meiji

非選択性茎葉処理型除草剤
(ビアラホス除草剤群)

ハービー液剤
インパルス水溶剤

明治製菓株式会社
104-8002 東京都中央区京橋2-4-16